

岐阜市学校施設

長寿命化計画




令和2年3月策定

令和8年2月改定

岐阜市

目 次

1. 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等.....	1
(1) 計画策定の背景.....	1
(2) 計画の目的.....	2
(3) 計画期間.....	3
(4) 計画の対象とする施設.....	3
2. 学校施設の目指すべき姿	5
3. 学校施設の実態	9
(1) 学校施設の運営状況・活用状況等の実態.....	9
(2) 学校施設の老朽化状況の実態.....	24
4. 学校施設整備の基本的な方針	39
(1) 維持管理の方針	39
(2) 改修の方針.....	40
(3) 方針を踏まえた検討ステップ.....	43
5. 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等	45
(1) 改修等の整備水準.....	45
(2) 維持管理の項目・手法等	46
6. 長寿命化の実施計画.....	49
(1) 改修等の優先順位付けと実施計画	49
(2) 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果.....	50
(3) 維持・更新の課題と今後の方針	55
(4) 改修等の実施計画（直近5年間の予算配分）	62
7. 長寿命化計画の継続的運用方針	67
(1) 情報基盤の整備と活用.....	67
(2) 推進体制等の整備.....	67
(3) フォローアップ.....	68
(4) SDGs の推進等項目	68
資料編.....	71



1.学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

1. 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

(1) 計画策定の背景

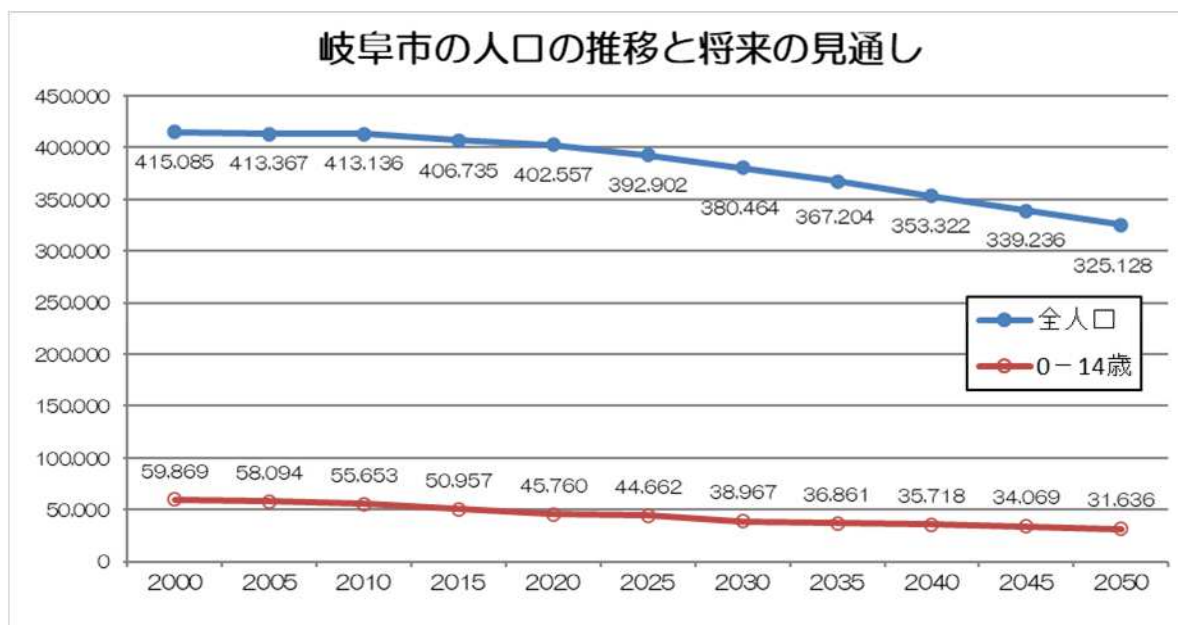
本市では、高度経済成長期における昭和 40 年代以降の児童・生徒の増加に伴い、学校施設を新增築してきました。

また、阪神淡路大震災を契機に学校施設の耐震化の重要性が全国的に高まる中、本市においても耐震診断の実施結果に基づき、必要な耐震補強工事を進めた結果、平成 26 年度までに校舎の耐震化を完了しました。

その後も、非構造部材の安全対策や、避難所としての機能強化、さらには防災拠点としての活用も見据えた施設整備を進めるなど、安全性と機能性の向上を図っています。

一方で、本市の学校施設は老朽化が進んでおり、大規模改修や改築（建替え）に伴う多額の費用が必要となってきました。今後は人口の減少による税収減や高齢化による社会保障費の増加により、一層厳しい財政状況となることが予想されます。

そうした中、学校施設を維持・更新していくには、多くの費用が必要となるため、現有施設を長期間使用できるための工夫を行うほか、改修・改築のコスト軽減や予算の平準化を検討していく必要があります。



出典：国勢調査、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
(令和 7 年 3 月推計)

(2) 計画の目的

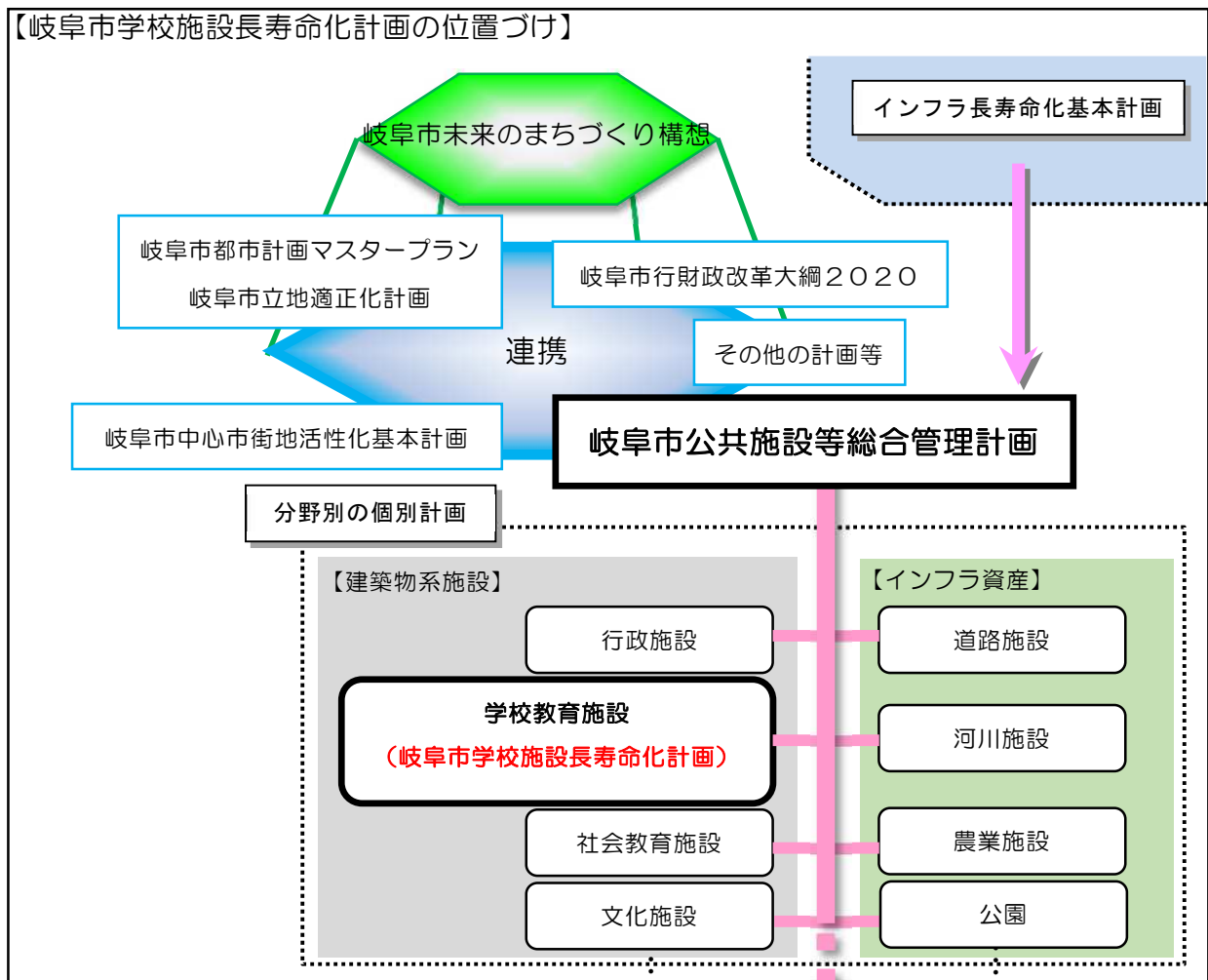
政府は、平成25年11月にインフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議において、「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、インフラの中長期的な維持管理・更新等に係るトータルコストの軽減や予算の平準化を図る方向性を打ち出しました。

本市では、国の「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、インフラの維持管理等を着実に推進するための取組の方向性を明らかにするため「岐阜市公共施設等総合管理計画」を平成29年3月に策定（令和4年3月改定）しました。

本計画は、総合管理計画の下位計画に当たる個別施設の具体の対応方針を定める計画として策定するものです。

今後、学校施設が一斉に大規模改修や更新期を迎える中、今後見込まれる施設の維持・更新コスト、将来の財政状況を勘案し、必要な学校施設を適切に維持できるよう、令和2年度（2020年度）からの30年間の対応方針と今後5年間の整備方針を示すことを目的としています。

なお、本改定は令和2年3月の策定から6年が経過するため、令和8年度からの5年間の整備方針を定め、計画を改定するものです。



(出典：岐阜市公共施設等総合管理計画 P2 を元に加工)

1. 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

【個別計画】

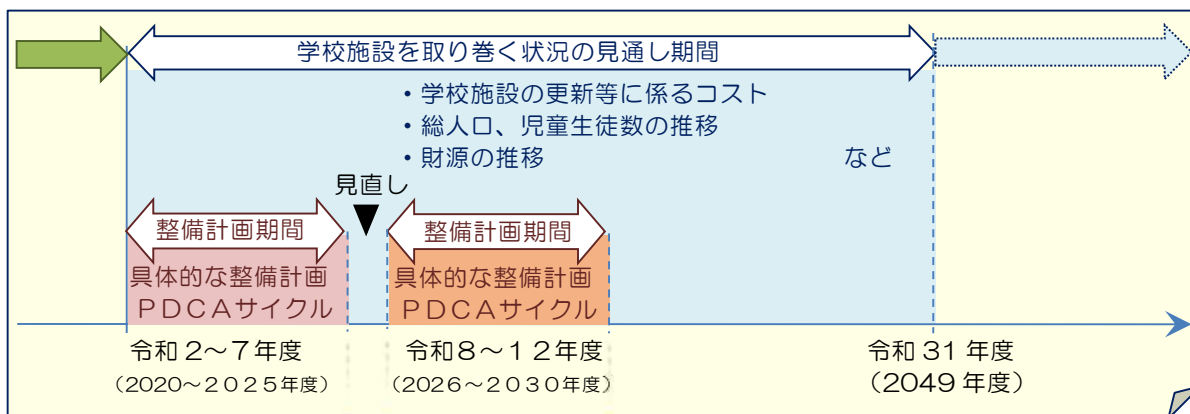
公共施設等総合管理計画に基づき、個別施設毎の具体的な対応方針を定める計画として「個別施設毎の長寿命化計画」を策定するもの。

(3) 計画期間

本計画の長期方針の計画期間は、上位計画である「岐阜市公共施設等総合管理計画」の計画期間に合わせ、令和2年度（2020年度）から令和31年度（2049年度）までの30年間とします。また、実施にあたり、施設の老朽化状況等の実態を継続的に把握し、PDCAサイクルによる実行システムを構築します。

また、本計画については、具体的な整備計画として5年ごとに見直します。ただし、社会情勢や教育環境の変化等への対応により計画の見直しが必要となった場合には、計画期間にかかわらず見直しを行うものとします。

【計画期間】



(4) 計画の対象とする施設

本計画は、本市が所有する全ての学校施設の校舎及び体育館を対象とします。

種別	数量
小学校	45校
中学校	22校
義務教育学校	1校
幼稚園	2園
特別支援学校	1校
高等学校	1校
その他施設	2施設



2.学校施設の目指すべき姿

2. 学校施設の目指すべき姿

市教育委員会では、教育基本法第 17 条第 2 項に基づく教育振興基本計画を策定し、実施しています。令和 5 年 3 月に、令和 5 年度から 5 年間の計画期間とする第 4 期の現計画では、学校環境の整備の目指すべき姿として、下記の基本目標及び基本目標に基づく主な取組を掲げています。

基本目標 6 新しい時代の学びにつながる、教育システムの整備

●学習環境のデジタル化の推進

コミュニケーションや個別学習の機能を備えた一人一台端末環境、デジタル教科書や電子黒板の導入など、教育 DX の推進に向けた学習環境を整備

●新たな教育制度を導入した学校づくり

9年間を見通した小中一貫教育の更なる充実とともに、専門的知見を活かす教科担任制や、柔軟なカリキュラム編成を実現する新たな学校形態の導入を推進

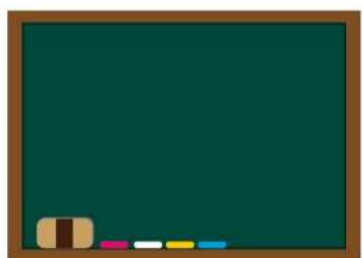
(出典：第 4 期岐阜市教育振興基本計画 P7 より抜粋)

また、基本目標 6 の達成に向け、学校施設に係る具体的な主な取組を以下のとおり掲げています。

取組名	事業概要	今後の方向性
小中一貫教育の推移、義務教育学校の設置	<p>平成 20 年度からこれまで、小中一貫教育を推進し、令和 2 年度に藍川北・厚見中学校区、令和 3 年度に藍川東中学校区を、岐阜市型小中一貫校として運営してきました。</p> <p>これまで、小・中合同の授業・清掃活動等による異学年交流、教科担任制授業(中学校教員の専門性を活かした小学校での授業)、小学 6 年生による中学校での週 1 回程度の学校生活の体験等を行ってきました。その結果、児童生徒は小中ギャップの解消につながり、教員は指導の一貫性の確保でき、異年齢の活動の充実により、地域も含め、社会性機能を強化することができました。</p> <p>一方で、主に小・中学校が物理的に分かれていることで、9年間を通じた教育課程の編成に苦慮していること、児童生徒・教職員の移動の負担が大きいこと、職員の意思統一が容易ではないことなどの課題を解消していく必要があります。</p> <p>こうした課題への対応と小中一貫教育の一層の推進に向けて、令和 7 年度に藍川小学校・藍川北中学校、令和 8 年度に芥見東小学校・藍川東中学校の義務教育学校化の準備を進めています。</p>	<p>令和 7 年度の藍川小学校・藍川北中学校、令和 8 年度の芥見東小学校・藍川東中学校の義務教育学校化に向けて、着実に準備を進めていきます。また、義務教育学校の成果も見極めつつ、市内の各中学校区においても、様々な条件や地域の特性等を十分に踏まえた小中一貫教育の推進施策を展開していくことを目指します。</p>

取組名	事業概要	今後の方向性
学校施設管理、学校施設の長寿命化	<p>本市では、小学校46校、中学校23校、特別支援学校1校、高等学校1校、幼稚園2園の計73施設を管理しています。児童生徒がのびのびと学ぶことができる教育環境の整備充実を図るとともに、安全かつ安心な空間づくりに努めています。</p> <p>学校環境の安全を確保するため、学校施設や設備について点検を実施しています。点検の結果、不具合等が確認された場合は、危険度に応じて迅速かつ適切に修繕や工事を実施しています。</p> <p>また、本市の学校施設は、築30年を経過した施設が全体の8割超を占め、今後、これらの大規模改修や更新を迎えます。このため、将来に向けた対応方針を示した「岐阜市学校施設長寿命化計画」を令和2年3月に策定しました。この計画に基づき、部位修繕を実施しています。</p>	<p>児童生徒、教職員等が安心して学校生活を送れるよう、今後も継続的かつ着実に点検を実施し、安全な学校施設・設備の維持管理に努めていきます。また、「岐阜市学校施設長寿命化計画」に基づく予防保全等によって、計画的に施設の長寿命化を図るとともに、その更新について、研究を進めていきます。</p>
学校施設整備（体育館エアコン・洋式便器の設置）	<p>近年の猛暑や体育館が指定拠点避難所又は指定避難所であることを踏まえ、通常時は児童・生徒の健康を守り、より良い教育環境を実現するため、緊急時は避難した市民の生命を守るため、令和2年度から、小中学校等の体育館72館にエアコンを整備しています。</p> <p>令和2年度は15館、令和3年度は15館、令和4年度は18館に設置しました。今後、令和6年度までに全学校の体育館への設置完了を目指し、計画的に整備を推進していきます。</p> <p>また、トイレ環境の改善を図るため、トイレ毎に各1箇所を洋式便器に取り替える「小規模改修（便器増設）」を行っています。これまで令和3年度は小学校39校、令和4年度は中学校18校で改修工事を行っています。</p>	<p>体育館のエアコンについて、令和5年度、6年度ともに12館への設置を予定しています。また、児童生徒数が多い、あるいはトイレ数が少ない学校に対して洋式便器への取替を重点的に進め、引き続きより良い教育環境の実現に努めてまいります。</p>

（出典：第4期岐阜市教育振興基本計画 参考資料 より抜粋）





3. 学校施設の実態

3. 学校施設の実態

(1) 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

1) 対象施設一覧

本計画の対象施設は、小学校 45 校、中学校 22 校、義務教育学校 1 校、幼稚園 2 園、特別支援学校 1 校、高等学校 1 校、その他施設 2 施設の校舎及び体育館とします。

以下に対象施設の概要を示します。

【小学校（1/2）】

番号	学校名	住所	児童数（人）		学級数（学級）	
			通常	特別支援	通常	特別支援
1	岐阜小学校	大工町 1 番地	229	14	11	3
2	明郷小学校	本郷町 3 丁目 1 番地	319	15	12	3
3	徹明さくら小学校	木ノ本町 1 丁目 18 番地	298	20	12	4
4	白山小学校	白山町 2 丁目 1 番地 1	137	8	6	2
5	梅林小学校	金竜町 6 丁目 6 番地	161	4	6	2
6	華陽小学校	華陽 5 番 1 号	240	21	11	4
7	本荘小学校	此花町 6 丁目 29 番地	485	20	18	4
8	日野小学校	日野北 1 丁目 4 番 1 号	343	19	13	3
9	長良小学校	長良 259 番地	306	29	12	4
10	島小学校	北島 7 丁目 6 番 12 号	767	28	24	5
11	三里小学校	六条北 2 丁目 5 番 1 号	642	29	22	5
12	鷺山小学校	鷺山北町 9 番 12 号	406	16	15	3
13	加納小学校	加納西丸町 1 丁目 73 番地 2	310	14	12	3
14	加納西小学校	加納高柳町 1 丁目 1 番地	302	16	12	3
15	則武小学校	則武 209 番地 2	545	17	19	3
16	長森南小学校	切通 5 丁目 12 番 1 号	625	20	20	3
17	長森北小学校	野一色 3 丁目 1 番 3 号	256	14	11	4
18	常磐小学校	上土居 838 番地	295	18	12	3
19	木田小学校	木田 2 丁目 173 番地	142	6	6	2
20	岩野田小学校	栗野西 2 丁目 33 番地	303	20	12	3
21	黒野小学校	古市場 20 番地 1	328	16	12	4
22	方巣小学校	安食 3 丁目 115 番地	64	3	6	1
23	茜部小学校	茜部新所 4 丁目 91 番地 3	738	32	24	6
24	鶉小学校	中鶉 4 丁目 189 番地 1	767	30	25	5
25	七郷小学校	西改田字川向 94 番地 1	494	23	17	4
26	西郷小学校	中西郷 4 丁目 261 番地	441	26	17	5
27	市橋小学校	市橋 6 丁目 6 番 28 号	794	25	27	4
28	岩小学校	岩滝西 1 丁目 612 番地	170	8	7	2
29	鏡島小学校	鏡島西 2 丁目 2 番 1 号	554	18	18	3
30	厚見小学校	上川手 198 番地 5	576	27	19	5

（令和 7 年 5 月 1 日現在）

【小学校（2/2）】

番号	学校名	住所	児童数（人）		学級数（学級）	
			通常	特別支援	通常	特別支援
31	長良西小学校	千代田町2丁目1番地	600	21	19	4
32	早田小学校	学園町2丁目35番地	284	16	12	3
33	且格小学校	日置江1859番地1	174	9	7	2
34	芥見小学校	芥見2丁目213番地	313	7	13	2
35	合渡小学校	寺田1番地1	278	13	12	2
36	三輪南小学校	太郎丸1034番地	464	20	16	4
37	三輪北小学校	北野東356番地	79	3	6	1
38	網代小学校	秋沢2丁目156番地1	35	1	4	1
39	城西小学校	則武西1丁目8番1号	298	9	12	2
40	長良東小学校	長良真生町3丁目9番地	647	23	22	3
41	長森西小学校	北一色5丁目5番1号	522	9	18	2
42	芥見東小学校	大洞桜台1丁目2番地	177	10	6	2
43	岩野田北小学校	栗野東2丁目33番地3	450	16	16	3
44	長森東小学校	水海道2丁目10番1号	467	16	18	2
45	柳津小学校	柳津町丸野1丁目1番地	620	14	20	2
小学校計			17,445	743	639	140

(令和7年5月1日現在)

【中学校】

番号	学校名	住所	生徒数（人）		学級数（学級）	
			通常	特別支援	通常	特別支援
1	岐阜清流中学校	早田1901番地18	468	26	15	6
2	岐阜中央中学校	京町3丁目19番地	299	20	10	3
3	本荘中学校	雲雀ヶ丘1番地	407	13	13	4
4	梅林中学校	九重町3丁目8番地	274	14	9	2
5	加納中学校	加納舟田町9番地	497	24	16	4
6	長森中学校	野一色4丁目11番1号	804	31	25	6
7	長良中学校	長良福光2070番地	286	11	10	2
8	島中学校	則武西1丁目8番2号	567	24	18	4
9	岩野田中学校	栗野西5丁目817番地	407	9	13	2
10	精華中学校	鏡島精華1丁目11番27号	636	23	19	5
11	藍川中学校	芥見4丁目157番地	258	9	9	2
12	三輪中学校	石原1丁目12番地	325	6	11	2
13	岐北中学校	御望971番地1の2	521	24	17	5
14	厚見中学校	上川手262番地1	246	9	9	2
15	青山中学校	下土居2丁目27番1号	388	17	13	3
16	陽南中学校	六条東1丁目1番1号	524	8	17	2
17	藍川東中学校	大洞紅葉が丘6丁目22番地3	139	9	6	2
18	岐阜西中学校	川部3丁目30番地	484	24	16	4
19	長森南中学校	切通2丁目11番地1号	328	6	11	2
20	東長良中学校	長良真生町3丁目27番地4	458	11	15	2
21	境川中学校	柳津町上佐波東3丁目70番地	814	36	25	6
22	草潤中学校	金宝町4丁目1番地	50	0	3	0
中学校計			9,180	354	300	70

(令和7年5月1日現在)

3. 学校施設の実態

【義務教育学校】

番号	学校名	住所	区分	児童生徒数 (人)		学級数 (学級)	
				通常	特別 支援	通常	特別 支援
1	藍川北学園	加野3丁目3番5号	前期	121	6	6	2
			後期	87	2	4	2
義務教育学校 計				208	8	10	4

(令和7年5月1日現在)

【幼稚園】

番号	学校名	住所	児童数 (人)	学級数 (学級)
1	加納幼稚園	加納東丸町2丁目9番地1	70	6
2	岐阜東幼稚園	水海道1丁目16番13号	49	3
幼稚園 計			119	9

(令和7年5月1日現在)

【特別支援学校】

番号	学校名	住所	区分	児童生徒数 (人)		学級数 (学級)	
				通常	重複	通常	重複
1	岐阜特別支援学校	小西郷3丁目120番地2	小	97	6	18	2
			中	41	4	8	2
			高	98	9	14	5
特別支援学校 計				236	19	40	9

(令和7年5月1日現在)

【高等学校】

番号	学校名	住所	生徒数 (人)	学級数 (学級)
1	岐阜商業高等学校	鏡島南2丁目7番1号	443	12
高等学校 計			443	12

(令和7年5月1日現在)

【その他施設】

番号	学校名	住所
1	旧芥見南小学校(教育研究所)	芥見南山3丁目10番1号
2	旧岐阜養護学校	西改田字川向3番地

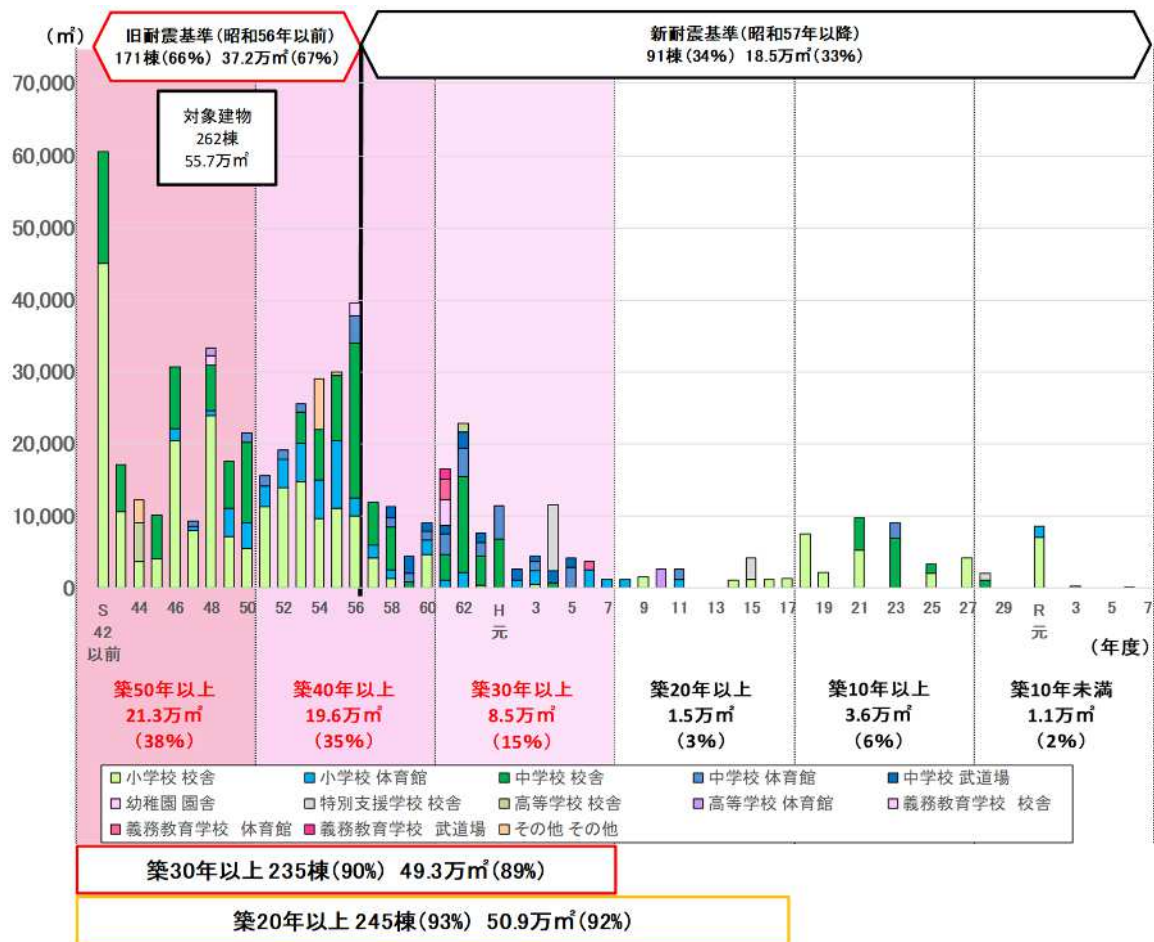


2) 学校施設の保有量

学校施設のうち、部室や物置等の小規模な付属建物を除き、エキスパンションジョイントで接続された校舎と渡り廊下等の棟をまとめて1棟として整理すると、本計画の対象となる施設は、262棟で、全保有量は55.7万㎡です。そのうち、小学校は158棟、31.2万㎡で全保有量の約6割、中学校は85棟、19.9万㎡で全保有量の約4割となります。

計画対象の施設について、旧耐震基準※（昭和56年以前）の保有量は、37.2万㎡で全体の67%を占めています。

また、築30年を経過した施設は、49.3万㎡で全体の89%を占めており、大規模改修や改築が必要な時期を迎えています。



【築年別整備状況】

【旧耐震基準】

昭和56年の建築基準法施行令改正以前の耐震基準。

中規模の地震（震度5強程度）に対して、倒壊等の被害を生じないことを目標としたものであるが、大規模の地震（震度6強～7程度）に対しては、特に規定されていない。

3. 学校施設の実態

3) 児童生徒数及び学級数の変化

a) 児童生徒数

【小学校】

市立小学校の児童数は、昭和56年度の41,564人をピークに減少しています。平成18年に旧柳津町との合併により柳津小学校が加わり、一時的に増加しましたが、令和7年5月1日現在18,315人と、現状はピーク時の44.1%となっています。

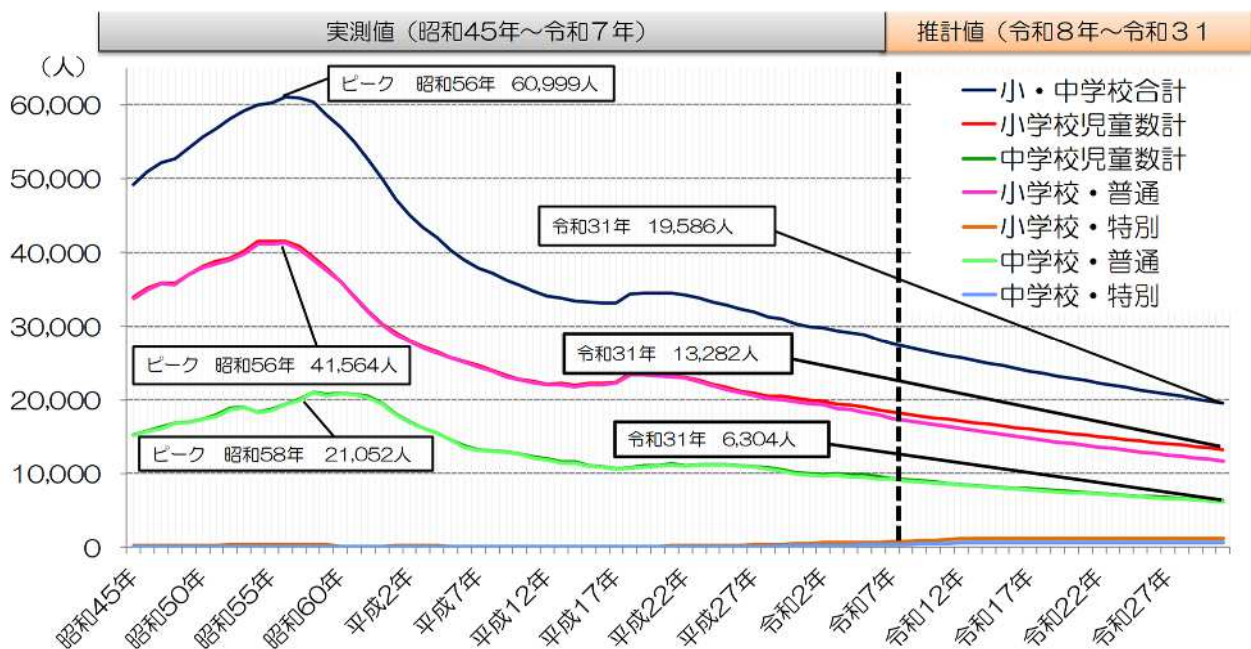
また、将来の児童数を推計した結果、今後も引き続き減少傾向が続く見込みであり、令和31年度には13,282人と、ピーク時の32.0%となる見込みです。

【中学校】

市立中学校の生徒数は、昭和58年度の21,052人をピークに減少しています。平成18年に旧柳津町との合併により境川中学校が加わり、一時的に増加しましたが、令和7年5月1日現在9,284人と、現状はピーク時の44.1%となっています。

また、将来の生徒数を推計した結果、今後も引き続き減少傾向が続く見込みであり、令和31年度には6,304人と、ピーク時の29.9%となる見込みです。

【児童生徒数の推移】



(出典：「岐阜市の教育」岐阜市教育委員会)【実測値部分】

※日本の地域別将来推計人口に基づく児童生徒数の推計を行っていますが、人口ビジョンに示されるような出生率の上昇や転入超過傾向が実現すれば上振れする可能性があります。

【将来の児童数及び生徒数の推計方法】

将来の児童数及び生徒数は、コーホート要因法により推計しました。

○人口動態に係る条件

①子ども女性比、②生残率、③純移動率、④出生性比は、国立社会保障・人口問題研究所によって推計された岐阜市の値(令和2年推計)を参考にしています。

b) 学級数

【小学校】

小学校の学級数は、昭和 56 年度の 1,080 学級をピークに減少しています。

令和 7 年度は、特別支援学級を含め 787 学級となっており、現状はピーク時の 72.9%となっています。

また、将来の学級数を推計した結果、今後も引き続き減少傾向が続く見込みであり、令和 31 年度には、特別支援学級を含め 711 学級と、ピーク時の 65.8%となる見込みです。

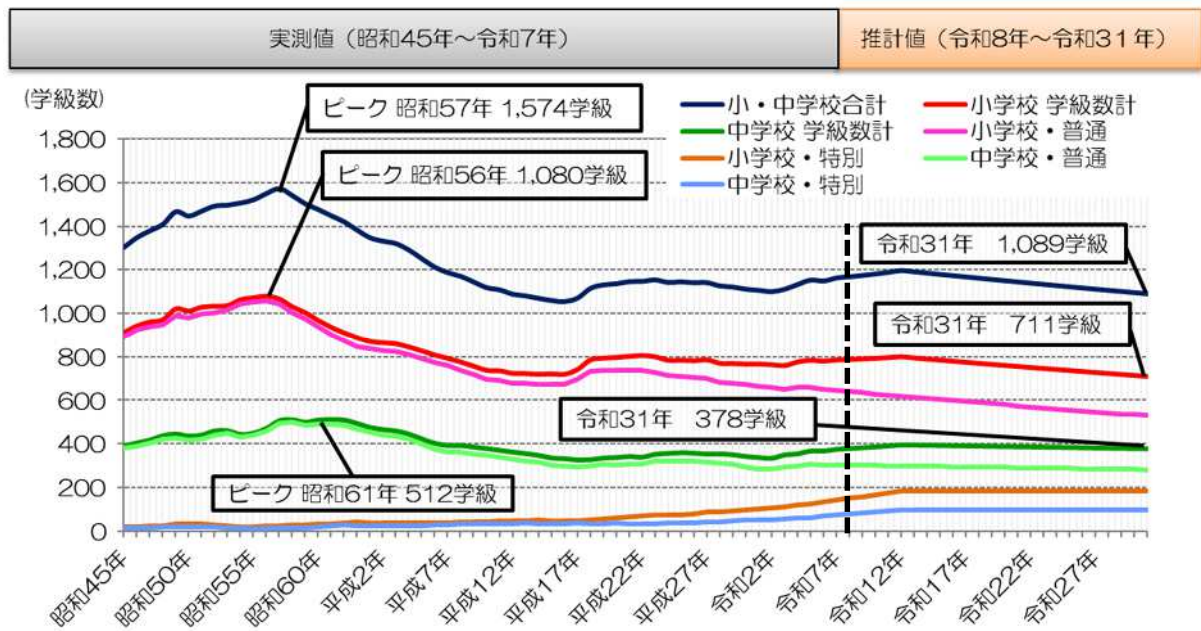
【中学校】

中学校の学級数は、昭和 61 年度の 512 学級をピークに減少しています。

令和 7 年度は、特別支援学級を含め 376 学級となっており、現状はピーク時の 73.4%となっています。

また、将来の学級数を推計した結果、通常学級数は今後も引き続き減少傾向が続くものの、特別支援学級は増加傾向が続く見込みであることから、今後、通常学級と特別支援学級を合わせた学級数は横這いで推移し、令和 31 年度には、特別支援学級を含め 378 学級と、ピーク時の 73.8%となる見込みです。

【学級数の推移】



※国及び県の編制基準について、現行基準を前提とした将来推移を算出していますので、基準が緩和されれば上振れする可能性があります。

【将来の学級数の推計方法】

将来の学級数は、児童数及び生徒数の推計結果より、以下を前提条件として算出しました。

○1 教室あたりの児童数、生徒数

小学校、中学校ともに1教室あたり35人として推計しています。

○特別支援学級数

特別支援学級は普通学級と区別し、学級数を推計しました。

4) 学校施設の配置状況

a) 学校規模適正化

市内の小・中学校は、昭和 40 年代後半には第二次ベビーブームに伴い、児童生徒数が増加したため、昭和 49 年に長良東小、長森西小、芥見東小の 3 校が分離新設されるなど、次々と新增築されました。

その後、居住人口の減少や出生率の低下により児童生徒数は、減少に転じ、学校の統廃合が進められました。

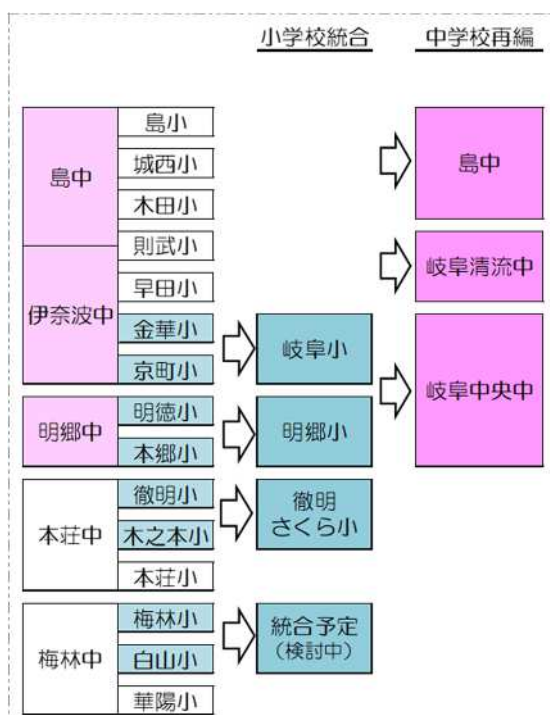
平成 10 年 8 月には、岐阜市立小学校及び中学校通学区域審議会により「旧市内における岐阜市立小学校及び中学校は急激な児童生徒数の減少や人口分布と学校配置の不均衡、校区を離れた中学校の設置等改善すべき現状にあり、・・・統合並びに再配置を実施することが急務である。」との提言がなされました。

その後、平成 20 年 4 月に、金華小学校及び京町小学校の統合校である岐阜小学校が開校し、2 年後に旧金華小学校の敷地に建築した新校舎で供用が開始されました。

さらに、平成 24 年 4 月には、明徳小学校及び本郷小学校の統合校である明郷小学校が、旧本郷小学校の校舎で、平成 29 年 4 月には、徹明小学校及び木之本小学校の統合校である徹明さくら小学校が、旧木之本小学校の校舎で、それぞれ開校しました。

なお、平成 29 年度より旧徹明小学校の跡地活用について検討を行った結果、令和元年度に不登校特例校設置の基本方針を策定し、令和 3 年 4 月に草潤中学校が開校しました。

また、平成 24 年 4 月には、則武及び早田の各小学校区の中学生在が通学する岐阜清流中学校が、旧明郷中学校の校舎を活用して、岐阜及び明郷の各小学校区の中学生在が通学する岐阜中央中学校が、旧京町小学校の敷地に新校舎を建築してそれぞれ開校しました。

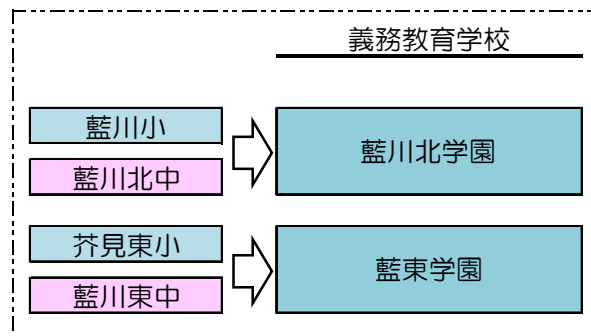


b) 小中一貫教育の推進、義務教育学校の設置

本市では、小学校教育と中学校教育の「独自性」と「連続性」を踏まえた一貫性のある教育を進めています。平成20年度から小中一貫教育を開始、平成27年度から小中一貫教育モデル校を指定し、教育目標の統合やカリキュラムの一貫化を進めてきました。

また、小中一貫校が抱える9年間連続した教育課程の実施の限界、児童生徒数の急減に伴う人間関係の固定化等の懸念に対応するため、施設一体型の「義務教育学校」の設置を進めています。令和7年4月には、藍川小学校・藍川北中学校からなる「藍川北学園」を開校しました。

さらに、令和8年4月の芥見東小学校・藍川東中学校からなる「藍東学園」の開校に向け、整備を進めています。



3. 学校施設の実態

小・中学校の児童生徒数の増減傾向を以下に示します。令和7年度から今後10年の児童生徒数は減少傾向の学校が多くなっています。

【小・中学校の児童生徒数の増減傾向（R7→R17）】

【児童生徒数の増減傾向(R7→R17)】

	+100人以上	+50人以上 +100人未満	0人以上 +50人未満	-50人以上 0人未満	-100人以上 -50人未満	-100人未満
岐阜中央中						○
岐阜小						○
明郷小						○
本荘中			○			
徹明さくら小	○					
本荘小						○
梅林中			○			
白山小			○			
梅林小				○		
華陽小			○			
加納中					○	
加納小						○
茜部小						○
陽南中					○	
三里小					○	
加納西小				○		
長森中						○
日野小					○	
長森北小				○		
長森西小						○
長森東小						○
長森南中				○		
長森南小						○
長良中				○		
長良西小						○
東長良中						○
長良小						○
長良東小					○	
岐阜清流中						○
則武小						○
早田小				○		
厚見中				○		
厚見小						○
島中		○				
島小				○		
木田小			○			
城西小				○		
岩野田中					○	
岩野田小					○	
岩野田北小					○	
精華中			○			
市橋小			○			
鏡島小				○		
藍川中					○	
岩小				○		
芥見小					○	
藍川東中					○	
芥見東小					○	
藍川北学園					○	
青山中						○
鷺山小						○
常盤小					○	
境川中				○		
鶉小				○		
且格小			○			
柳津小					○	
岐阜西中						○
七郷小				○		
合渡小				○		
三輪中						○
三輪南小						○
三輪北小				○		
岐北中						○
黒野小					○	
方果小				○		
西郷小				○		
網代小				○		

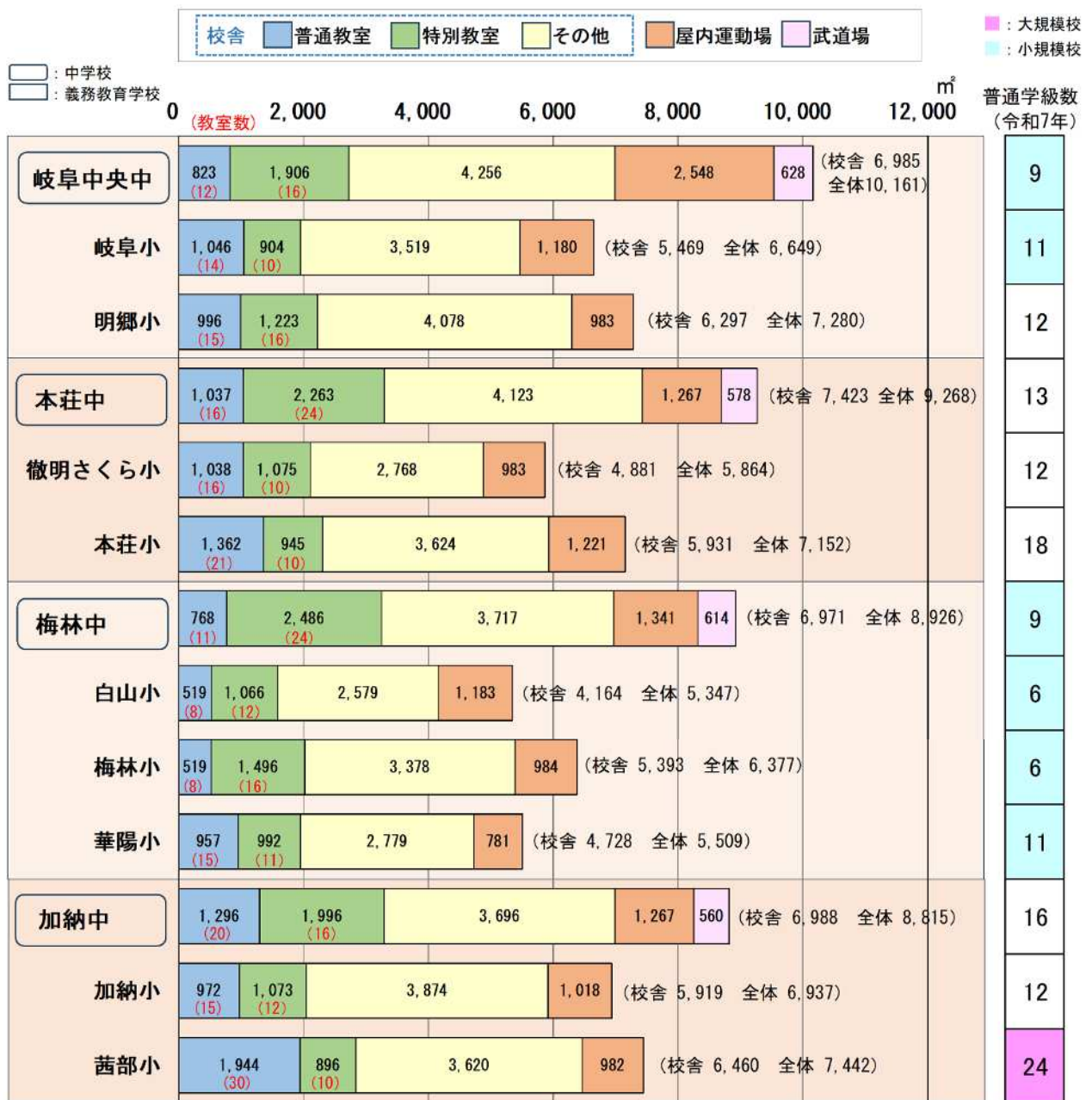
学校別規模（面積及びクラス数等）を以下に示します。

- ・茜部小、三里小、長森南小、長良西小、長良東小、則武小、厚見小、島小、市橋小、鶉小、柳津小、長森中、精華中、境川中は大規模校となっています。
- ・岐阜小、白山小、梅林小、華陽小、長森北小、木田小、岩小、芥見東小、目格小、三輪北小、方県小、網代小、岐阜中央中、梅林中、長森南中、長良中、厚見中、藍川中、藍川東中、三輪中、藍川北学園は小規模校となっています。

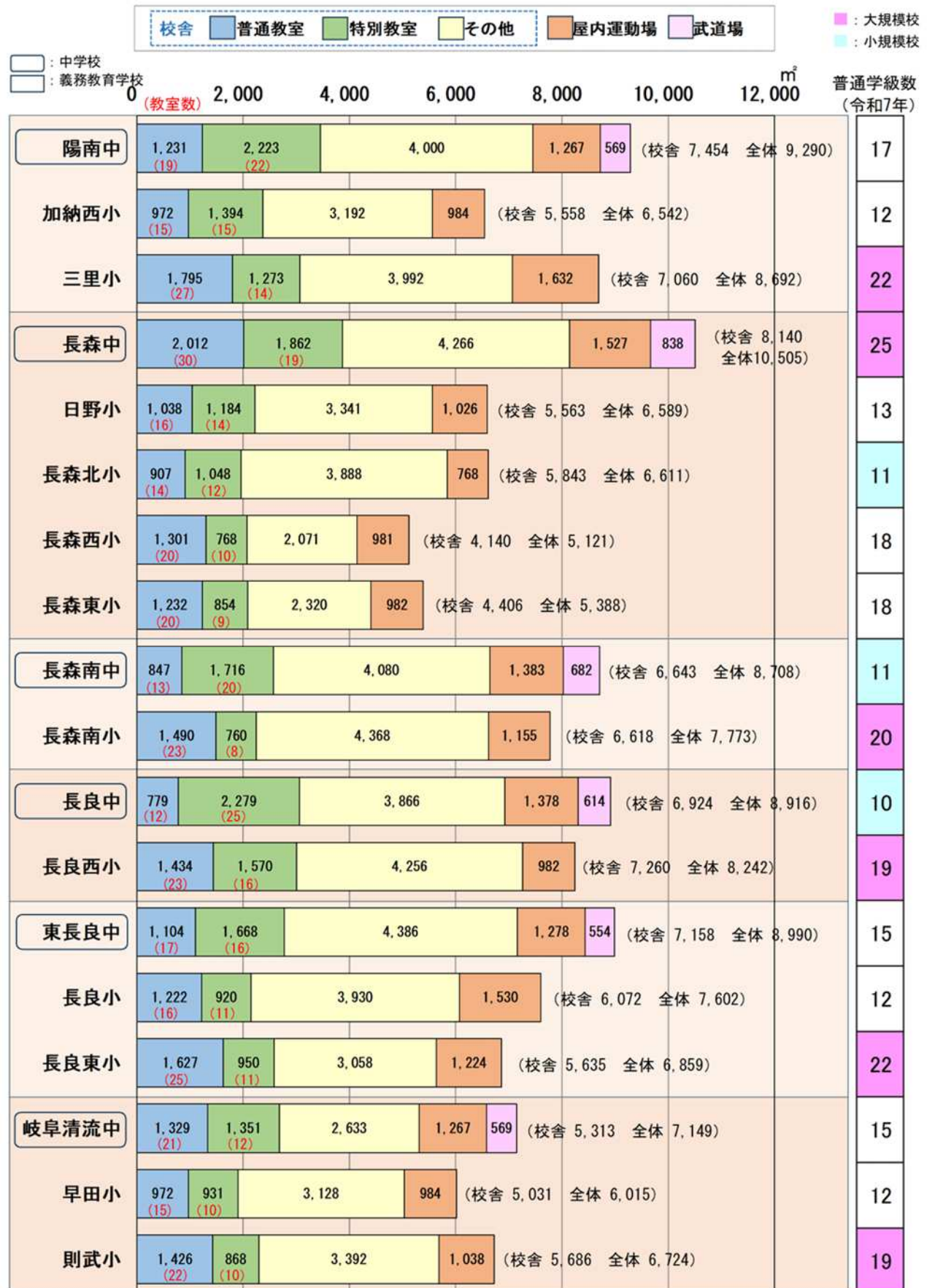
【学級数による学校規模】

- ・大規模校：19～30学級
- ・適正規模校：12～18学級
- ・小規模校：6～11学級（小学校）、3～11学級（中学校）

（出典：「公立小・中学校の国庫負担事業認定申請の手引き」文部科学省）



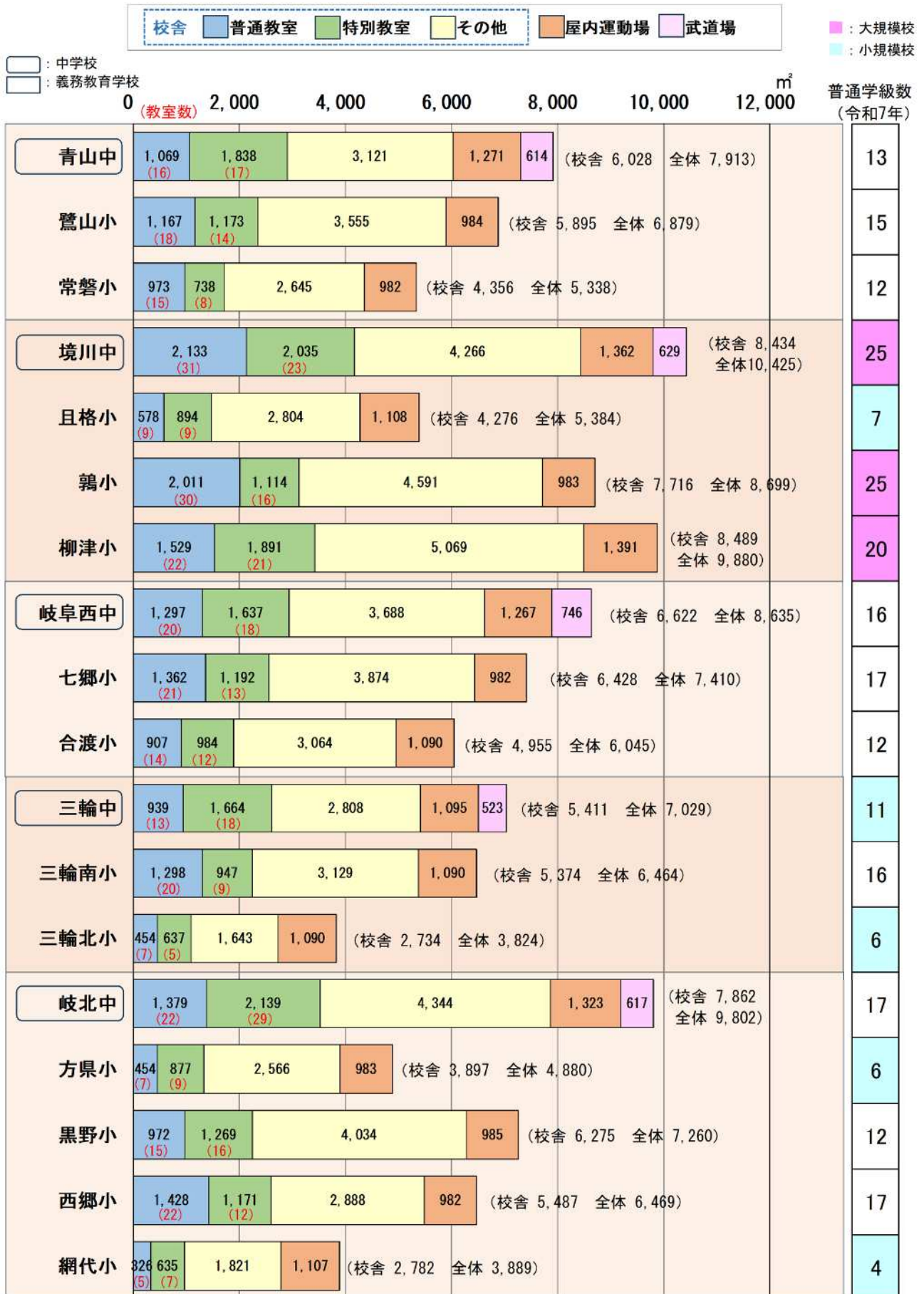
3. 学校施設の実態



3. 学校施設の実態



3. 学校施設の実態



5) 施設関連経費の推移

令和2年度から令和6年度までの小・中学校・幼稚園・特別支援学校及び高等学校の施設関連経費は、以下の表のとおりとなります。

【小学校】

単位：千円

年度	R2	R3	R4	R5	R6	平均
小規模な修繕	96,361	96,810	95,030	107,867	113,651	101,944
大規模な修繕	128,877	105,477	156,918	313,642	165,455	174,074
改修等の工事	538,280	632,470	810,135	158,037	161,012	459,987
改築等の工事	133,392	156,523	196,122	3,973	160,435	130,089

【中学校】

単位：千円

年度	R2	R3	R4	R5	R6	平均
小規模な修繕	51,715	54,448	52,278	47,361	55,200	52,200
大規模な修繕	68,440	73,099	154,567	119,639	79,310	99,011
改修等の工事	91,230	0	41,329	694,224	724,012	310,159
改築等の工事	0	0	0	10,813	475,967	97,356

【幼稚園】

単位：千円

年度	R2	R3	R4	R5	R6	平均
小規模な修繕	2,287	2,344	2,421	1,288	2,497	2,167
大規模修繕・工事	3,966	938	1,299	2,620	5,487	2,862
改築等の工事	0	0	0	0	0	0

【特別支援学校】

単位：千円

年度	R2	R3	R4	R5	R6	平均
小規模な修繕	4,358	3,906	5,398	3,914	5,925	4,700
大規模修繕・工事	25,942	809	997	2,624	111,293	28,333
改築等の工事	0	0	0	0	0	0

【高等学校】

単位：千円

年度	R2	R3	R4	R5	R6	平均
小規模な修繕	6,362	4,495	8,169	4,035	9,396	6,491
大規模修繕・工事	27,427	0	73,805	3,517	106,150	42,180
改築等の工事	0	0	0	0	0	0

◎年度ごとの費用計

単位：千円

年度	R2	R3	R4	R5	R6	平均
小規模な修繕	161,083	162,003	163,296	164,465	186,669	167,502
大規模修繕・工事	884,162	812,793	1,239,050	1,294,303	1,352,719	1,116,606
改築等の工事	133,392	156,523	196,122	14,786	636,402	227,445
計	1,178,637	1,131,319	1,598,468	1,473,554	2,175,790	1,511,553

小規模な修繕…壊れた箇所の修繕

大規模な修繕…校舎等の一部の維持補修（体育館屋根改修など）

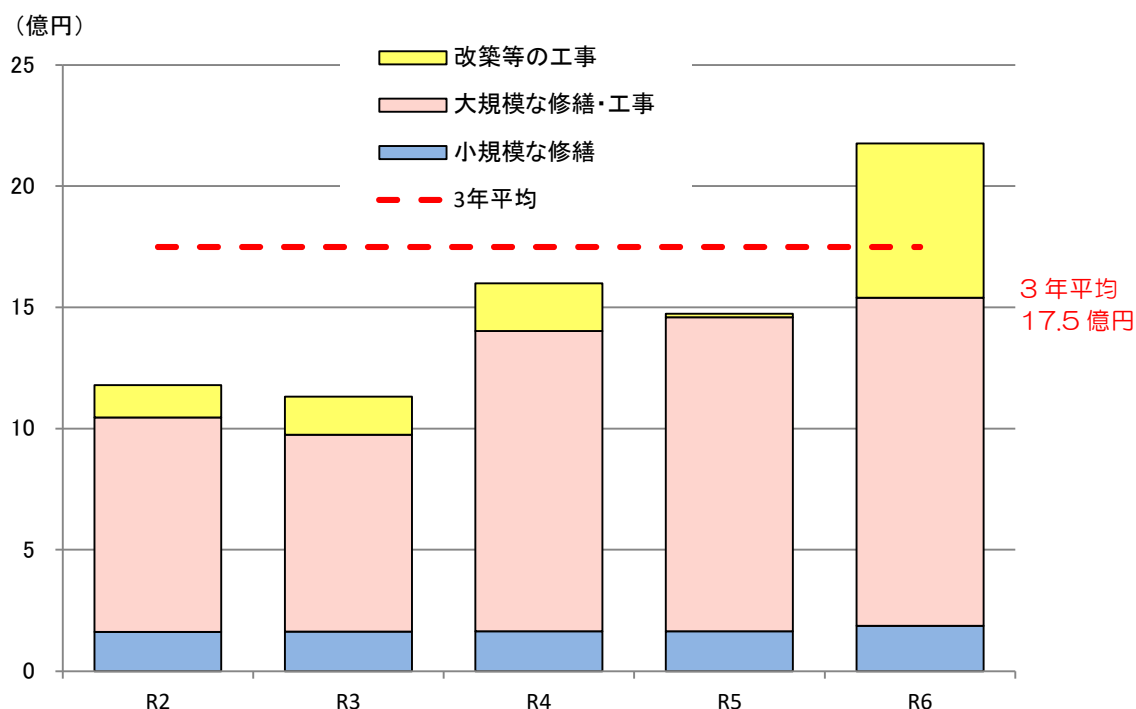
改修等の工事…全体的なまたは大きな工事（エアコン設置、トイレ改修、外壁落下防止工事など）

改築等の工事…建替え

3. 学校施設の実態

また、施設の修繕や機能向上のための工事や改築などに要した経費は、過去5年間（令和2年度から令和6年度まで）の平均で15.1億円となっています。

過去5年間の施設関連経費の傾向として、令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、整備費用を抑制しました。また、令和6年度は藍川北学園開校に伴う施設整備工事を行っている影響で他の年度より10億円程度多くなっています。



※水道光熱費、委託料は除く

【過去5年間の施設関連経費】

今後の学校施設整備へ充てられる費用は、岐阜市全体の予算を基に、調整を行う中で決定していくこととなりますが、本計画においては過年度の平均費用とし、新型コロナウイルス感染症の影響があった令和2、3年度を除いた直近3年間の17.5億円/年を目安と設定します。



(2) 学校施設の老朽化状況の実態

1) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価


構造躯体については、旧耐震基準で建てられている建物についても、耐震補強済みまたは耐震診断で耐震性を有することが確認されており、コンクリートの圧縮強度 13.5N/mm^2 以上（＝耐震診断を行う上で最低限必要とされている強度）が確保されていると判断できることから、「長寿命化」が可能であると評価します。

一方で、コンクリート中性化試験の結果から、中性化深さが鉄筋まで到達している棟については、今後、ひび割れや漏水の影響が加わると加速度的に鉄筋の腐食が進行し、コンクリートの爆裂を生じる恐れがあるため、改修コストが過大となることから「改築」を基本とします。


構造躯体以外の劣化状況については、劣化状況調査により把握し、屋根・屋上、外壁は目視状況により、内部仕上げ、電気設備、機械設備は部位の全面的な改修年からの経過年数を基本に A、B、C、D の4段階で評価します。

ア) 評価基準

- ・目視による評価 … 屋根・屋上、外壁

良  劣	評価	基準
	A	おおむね良好
	B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）
	C	広範囲に劣化 （安全上、機能上、不具合発生の兆し）
	D	早急に対応する必要がある （安全上、機能上、問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し施設運営に支障を与えている）

- ・経過年数による評価 … 内部仕上げ、電気設備、機械設備

良  劣	評価	基準
	A	20年未満
	B	20～40年
	C	40年以上
	D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

（出典：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29年3月）文部科学省）

3. 学校施設の実態

イ) 健全度の算定

健全度とは、各建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標です。

①部位の評価点と②部位のコスト配分を次表のように定め、③健全度を100点満点で算定します。

①部位の評価点

判定	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

②部位のコスト配分

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	5.1
2 外壁	17.2
3 内部仕上げ	22.4
4 電気設備	8.0
5 機械設備	7.3
計	60

③健全度

$$\text{総和 (部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分)} \div 60$$

※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割ります。
 ※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示します。

<健全度計算例>

	評価		評価点		配分		
1 屋根・屋上	C	→	40	×	5.1	=	204
2 外壁	D	→	10	×	17.2	=	172
3 内部仕上げ	B	→	75	×	22.4	=	1,680
4 電気設備	A	→	100	×	8.0	=	800
5 機械設備	C	→	40	×	7.3	=	292
計							3,148
							÷60
健全度							52

(出典：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書(平成29年3月)文部科学省)

なお、事業を効率的に実施するため、棟単位の整備を基本とし、最も古い築年数を基準として検討します。

【整備単位のイメージ】



ウ) 建物情報一覧表

対象施設の劣化状況評価の結果は、以下の表のとおりとなります。

【小学校（全 45 校）】

A : 概ね良好 C : 広範囲に劣化
 : 築50年以上 : 築30年以上 B : 部分的に劣化 D : 早急に対応する必要がある

建物基本情報							劣化状況評価					
番号	施設名	建物名	建物用途	保有量 (㎡)	建築年	築年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
1	岐阜小	校舎	校舎	5,230	H21	16	A	A	A	A	A	100
1	岐阜小	屋内運動場棟	体育館	1,432	H6	31	B	B	B	B	B	75
2	明郷小	北舎	校舎	2,715	S48	52	A	A	A	A	A	100
2	明郷小	南舎	校舎	2,818	S55	45	C	B	C	C	C	50
2	明郷小	屋内運動場	体育館	983	S53	47	B	B	B	B	B	75
3	徹明さくら小	北舎	校舎	3,999	S51	49	D	A	D	B	B	52
3	徹明さくら小	南舎	校舎	962	S55	45	C	A	C	C	C	57
3	徹明さくら小	屋内運動場	体育館	983	S53	47	A	A	C	B	B	71
4	白山小	西舎	校舎	3,572	S53	47	C	B	C	C	C	50
4	白山小	北舎	校舎	435	S45	55	D	B	D	D	D	29
4	白山小	南舎	校舎	378	S63	37	C	B	B	B	B	72
4	白山小	屋内運動場	体育館	1,183	H7	30	A	B	B	B	B	77
5	梅林小	北舎	校舎	3,783	S46	54	D	A	D	D	D	36
5	梅林小	南舎	校舎	1,832	S51	49	B	A	D	D	D	41
5	梅林小	屋内運動場	体育館	984	S52	48	B	C	B	C	C	56
6	華陽小	北舎	校舎	4,281	S54	46	C	A	C	C	C	57
6	華陽小	南舎	校舎	636	S38	62	D	A	D	D	D	36
6	華陽小	屋内運動場	体育館	781	S49	51	B	C	C	C	C	43
7	本荘小	北舎	校舎	941	S40	60	A	B	D	D	D	36
7	本荘小	中舎	校舎	2,751	S45	55	D	B	D	D	D	29
7	本荘小	南舎	校舎	1,857	S56	44	C	C	C	C	C	40
7	本荘小	屋内運動場棟	体育館	1,907	H3	34	B	B	B	B	B	75
8	日野小	北舎西	校舎	868	S45	55	D	A	D	D	D	36
8	日野小	北舎東	校舎	3,747	S54	46	C	A	C	C	C	57
8	日野小	南舎	校舎	1,190	H15	22	B	B	B	B	B	75
8	日野小	屋内運動場	体育館	982	S55	45	C	C	C	C	C	40
9	長良小	校舎	校舎・共	5,893	R元	6	A	A	A	A	A	100
9	長良小	屋内運動場	体育館	1,530	R元	6	A	A	A	A	A	100
9	長良小	校舎	校舎	224	R3	4	A	A	A	A	A	100

※築年数 : 2025年(令和7年)時点の年数を示す。

※建物用途の“共”は、共同調理場を示す。

3. 学校施設の実態

A : 概ね良好 C : 広範囲に劣化
 : 築50年以上 : 築30年以上 B : 部分的に劣化 D : 早急に対応する必要がある

建物基本情報							劣化状況評価					
番号	施設名	建物名	建物用途	保有量 (㎡)	建築年	築年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
10	島小	北舎東	校舎	2,962	S40	60	B	B	B	D	D	58
10	島小	北舎西	校舎	1,694	S43	57	B	B	B	D	D	58
10	島小	南舎	校舎	1,516	H9	28	B	B	B	B	B	75
10	島小	屋内運動場	体育館	1,503	S56	44	B	C	C	C	C	43
11	三里小	北舎	校舎	3,331	S43	57	A	A	C	D	A	66
11	三里小	西舎南	校舎	640	S40	60	D	A	D	D	D	36
11	三里小	西舎北	校舎	2,436	S53	47	C	A	C	C	C	57
11	三里小	東舎	校舎	943	H19	18	A	A	A	A	A	100
11	三里小	屋内運動場	体育館	1,601	S50	50	A	B	C	C	C	55
12	鷺山小	北舎	校舎	3,048	S42	58	D	A	B	D	D	60
12	鷺山小	南舎西	校舎	657	S40	60	D	A	D	D	D	36
12	鷺山小	南舎東	校舎	2,126	S53	47	C	A	C	C	C	57
12	鷺山小	屋内運動場	体育館	984	S52	48	A	C	C	C	C	45
13	加納小	北舎	校舎	1,194	S55	45	C	C	C	C	C	40
13	加納小	中舎	校舎	2,180	S47	53	D	B	B	B	D	62
13	加納小	南舎	校舎	2,133	S42	58	D	B	C	D	D	40
13	加納小	屋内運動場	体育館	1,607	S55	45	B	B	B	C	C	66
14	加納西小	北舎	校舎	433	S56	44	B	B	D	D	D	34
14	加納西小	中舎	校舎	1,850	S42	58	B	B	D	D	D	34
14	加納西小	南舎	校舎	3,438	S51	49	B	B	D	D	D	34
14	加納西小	屋内運動場	体育館	984	S52	48	A	B	C	C	C	55
15	則武小	北舎	校舎	2,422	S40	60	C	C	C	C	C	40
15	則武小	南舎西	校舎	1,780	S46	54	D	B	B	B	D	62
15	則武小	南舎東	校舎	1,205	H16	21	A	A	A	A	A	100
15	則武小	屋内運動場	体育館	1,386	S54	46	C	C	C	C	C	40
16	長森南小	北舎東	校舎	1,306	S42	58	D	B	C	B	C	52
16	長森南小	北舎西	校舎	1,617	H14	23	B	B	B	B	B	75
16	長森南小	中舎	校舎	1,677	S53	47	C	B	C	C	C	50
16	長森南小	東舎	校舎	496	S48	52	A	B	D	D	D	36
16	長森南小	南舎	校舎	1,645	S56	44	C	B	C	C	C	50
16	長森南小	屋内運動場	体育館	1,155	H8	29	B	B	B	B	B	75
17	長森北小	北舎西	校舎	1,787	S37	63	C	A	C	D	D	50
17	長森北小	北舎東	校舎	1,030	S41	59	C	A	B	D	D	63
17	長森北小	南舎	校舎	1,513	S44	56	C	A	C	C	C	57
17	長森北小	中舎	校舎	1,644	S48	52	C	A	C	C	C	57
17	長森北小	屋内運動場	体育館	768	S48	52	B	C	C	C	C	43
18	常磐小	北舎西	校舎	801	S43	57	C	B	C	C	C	50
18	常磐小	北舎東	校舎	1,263	S57	43	C	B	C	C	C	50
18	常磐小	南舎	校舎	2,449	S46	54	B	B	D	D	D	34
18	常磐小	屋内運動場	体育館	982	S54	46	B	B	C	C	C	53

3. 学校施設の実態

A : 概ね良好 C : 広範囲に劣化
B : 部分的に劣化 D : 早急に対応する必要がある
 : 築50年以上 : 築30年以上

建物基本情報							劣化状況評価					
番号	施設名	建物名	建物用途	保有量 (㎡)	建築年	築年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
19	木田小	北舎	校舎	2,061	S46	54	C	B	B	C	B	67
19	木田小	南舎	校舎	815	S54	46	B	B	C	C	C	53
19	木田小	屋内運動場	体育館	610	S47	53	D	B	C	C	C	48
20	岩野田小	北舎	校舎	2,224	S47	53	A	A	D	D	D	43
20	岩野田小	中舎	校舎	2,179	S44	56	A	A	D	D	D	43
20	岩野田小	南舎	校舎	2,388	S40	60	C	A	D	D	D	38
20	岩野田小	屋内運動場	体育館	988	S50	50	B	B	C	C	C	53
21	黒野小	北舎	校舎	1,649	S42	58	A	A	D	D	D	43
21	黒野小	中舎	校舎	3,736	S48	52	B	A	D	D	D	41
21	黒野小	南舎	校舎	1,060	S55	45	C	A	C	C	C	57
21	黒野小	屋内運動場	体育館	985	S51	49	A	C	C	C	C	45
22	方県小	北舎	校舎	1,723	S42	58	D	D	D	D	D	10
22	方県小	南舎	校舎	2,214	S60	40	C	C	C	C	C	40
22	方県小	屋内運動場	体育館	983	S53	47	A	A	B	B	B	84
23	茜部小	北舎	校舎	3,525	S40	60	D	B	D	D	D	29
23	茜部小	南舎東	校舎	1,789	S53	47	C	B	C	C	C	50
23	茜部小	南舎西	校舎	1,171	H19	18	A	A	A	A	A	100
23	茜部小	屋内運動場	体育館	982	S55	45	B	C	C	C	C	43
24	鶉小	北舎	校舎	2,619	S41	59	A	A	D	A	D	55
24	鶉小	中舎	校舎	2,885	S50	50	A	A	D	D	D	43
24	鶉小	南舎	校舎	2,096	H25	12	A	A	A	A	A	100
24	鶉小	屋内運動場	体育館	983	S53	47	A	B	C	C	C	55
25	七郷小	北舎	校舎	2,905	S52	48	C	A	C	C	C	57
25	七郷小	中舎	校舎	2,284	S54	46	C	A	C	C	C	57
25	七郷小	南舎	校舎	1,372	H17	20	B	B	B	B	B	75
25	七郷小	屋内運動場	体育館	982	S55	45	C	C	C	B	B	49
26	西郷小	校舎	校舎	5,574	S52	48	C	B	C	C	C	50
26	西郷小	屋内運動場	体育館	982	S54	46	C	B	C	C	C	50
27	市橋小	北舎	校舎	479	H18	19	B	B	B	B	B	75
27	市橋小	中舎	校舎	1,857	S43	57	A	B	D	D	D	36
27	市橋小	南舎東	校舎	1,306	S42	58	B	B	D	D	D	34
27	市橋小	南舎西	校舎	3,170	S53	47	B	B	C	C	C	53
27	市橋小	屋内運動場	体育館	1,098	H2	35	B	B	B	B	B	75
27	市橋小	南舎北	校舎	198	R6	0	A	A	A	A	A	100
28	岩小	校舎	校舎	3,529	S47	53	D	A	D	D	D	36
28	岩小	屋内運動場	体育館	982	S54	46	A	C	C	C	C	45
29	鏡島小	北舎西	校舎	1,173	S41	59	D	A	D	D	D	36
29	鏡島小	北舎東	校舎	1,997	S51	49	D	A	D	D	D	36
29	鏡島小	中舎	校舎	1,733	S46	54	D	A	D	D	D	36
29	鏡島小	南舎	校舎	1,696	S39	61	A	A	D	D	D	43
29	鏡島小	屋内運動場	体育館	985	S51	49	A	B	C	C	C	55

3. 学校施設の実態

A : 概ね良好 C : 広範囲に劣化
 : 築50年以上 : 築30年以上 B : 部分的に劣化 D : 早急に対応する必要がある

建物基本情報							劣化状況評価					
番号	施設名	建物名	建物用途	保有量 (㎡)	建築年	築年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
30	厚見小	北舎東	校舎	2,265	S54	46	A	C	C	C	C	45
30	厚見小	北舎西	校舎	1,176	S46	54	D	D	D	D	D	10
30	厚見小	中舎東	校舎	1,723	S40	60	A	D	D	D	D	18
30	厚見小	中舎西	校舎	478	H3	34	C	C	C	C	C	40
30	厚見小	南舎	校舎	1,678	S42	58	D	D	D	D	D	10
30	厚見小	屋内運動場	体育館	984	S52	48	A	C	C	C	C	45
31	長良西小	北舎	校舎	4,142	H27	10	A	A	A	A	A	100
31	長良西小	南舎西	校舎	1,576	S41	59	D	D	D	D	D	10
31	長良西小	南舎東	校舎	1,465	S30	70	D	D	D	D	D	10
31	長良西小	屋内運動場	体育館	982	S50	50	B	C	C	C	C	43
32	早田小	北舎東	校舎	919	S40	60	D	A	D	D	D	36
32	早田小	北舎西	校舎	1,279	S58	42	A	C	C	C	C	45
32	早田小	南舎	校舎	2,974	S43	57	B	A	D	D	D	41
32	早田小	屋内運動場	体育館	984	S51	49	B	C	C	C	C	43
33	且格小	北舎	校舎	1,101	S57	43	B	B	C	C	C	53
33	且格小	南舎	校舎	2,354	S46	54	B	B	B	B	B	75
33	且格小	屋内運動場棟	体育館	1,809	S57	43	B	B	B	B	B	75
34	芥見小	北舎	校舎	2,291	S46	54	B	D	D	D	D	16
34	芥見小	南舎	校舎	2,619	S50	50	A	B	D	D	D	36
34	芥見小	屋内運動場	体育館	982	S54	46	A	B	C	C	C	55
35	合渡小	北舎東	校舎	1,784	S40	60	D	B	D	D	D	29
35	合渡小	北舎西	校舎	1,847	S57	43	C	B	C	C	C	50
35	合渡小	南舎	校舎	1,552	S56	44	C	C	C	C	C	40
35	合渡小	屋内運動場	体育館	1,090	S62	38	A	B	B	B	B	77
36	三輪南小	校舎	校舎	5,473	S52	48	C	A	C	C	C	57
36	三輪南小	屋内運動場	体育館	1,090	S61	39	A	B	C	C	C	55
37	三輪北小	校舎	校舎	2,816	S55	45	C	A	C	C	C	57
37	三輪北小	屋内運動場	体育館	1,090	S62	38	B	B	C	C	C	53
38	網代小	校舎	校舎	2,434	S60	40	A	C	C	C	C	45
38	網代小	屋内運動場棟	体育館	2,001	S60	40	A	C	C	C	C	45
39	城西小	北舎	校舎	2,707	S45	55	D	B	D	D	D	29
39	城西小	南舎	校舎	2,570	S46	54	D	B	D	D	D	29
39	城西小	屋内運動場	体育館	1,258	H11	26	B	B	B	B	B	75
40	長良東小	校舎	校舎	5,553	S48	52	D	A	D	D	D	36
40	長良東小	屋内運動場	体育館	1,224	S49	51	A	C	C	C	C	45
41	長森西小	校舎	校舎	4,204	S48	52	D	A	C	C	C	55
41	長森西小	屋内運動場	体育館	981	S49	51	B	D	C	C	C	34
42	芥見東小	校舎	校舎	7,121	S49	51	A	B	D	D	D	36
42	芥見東小	屋内運動場	体育館	982	S49	51	A	B	C	C	C	55

3. 学校施設の実態

 : 築50年以上
 : 築30年以上
 A : 概ね良好
 C : 広範囲に劣化
B : 部分的に劣化
 D : 早急に対応する必要がある

建物基本情報							劣化状況評価					
番号	施設名	建物名	建物用途	保有量 (m ²)	建築年	築年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
43	岩野田北小	校舎	校舎	5,041	S55	45	C	A	C	C	C	57
43	岩野田北小	屋内運動場	体育館	982	S55	45	A	B	C	C	C	55
44	長森東小	校舎	校舎	4,503	S56	44	C	A	C	C	C	57
44	長森東小	屋内運動場	体育館	982	S56	44	B	C	C	C	C	43
45	柳津小	西舎	校舎	1,956	S46	54	B	B	D	D	D	34
45	柳津小	東舎	校舎	7,002	H18	19	A	A	A	A	A	100
45	柳津小	屋内運動場	体育館	1,391	S53	47	C	C	C	C	C	40



3. 学校施設の実態

【中学校（全 22 校）】

A : 概ね良好 C : 広範囲に劣化
B : 部分的に劣化 D : 早急に対応する必要がある
 : 築50年以上 : 築30年以上

建物基本情報							劣化状況評価					健全度 (100点満点)
番号	施設名	建物名	建物用途	保有量 (㎡)	建築年	築年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	
1	岐阜清流中	北舎	校舎	2,528	S56	44	A	C	C	C	C	45
1	岐阜清流中	中舎	校舎	1,381	S42	58	A	D	D	D	D	18
1	岐阜清流中	南舎	校舎	1,554	S56	44	A	C	C	C	C	45
1	岐阜清流中	屋内運動場	体育館	1,267	S58	42	A	B	C	C	C	55
1	岐阜清流中	武道場	武道場	569	S60	40	A	B	C	C	C	55
2	岐阜中央中	校舎	校舎	6,927	H23	14	A	A	A	A	A	100
2	岐阜中央中	共同調理場棟	共同調理場	1,141	H28	9	A	A	A	A	A	100
2	岐阜中央中	屋内運動場棟	体育館	2,073	H23	14	A	A	A	A	A	100
2	岐阜中央中	屋内運動場	体育館	1,103	S55	45	B	B	B	B	B	75
3	本荘中	北舎	校舎	367	S58	42	C	C	C	C	C	40
3	本荘中	中舎	校舎	3,273	S54	46	A	B	C	C	C	55
3	本荘中	南舎	校舎	3,848	S49	51	D	B	D	D	D	29
3	本荘中	屋内運動場	体育館	1,267	S60	40	A	B	B	B	B	77
3	本荘中	武道場	武道場	578	S58	42	C	B	C	C	C	50
4	梅林中	北舎	校舎	3,719	S46	54	A	A	D	D	D	43
4	梅林中	南舎	校舎	2,873	S56	44	A	A	C	C	C	62
4	梅林中	武道場棟	武道場	1,125	S61	39	C	C	C	C	C	40
4	梅林中	屋内運動場	体育館	1,341	H11	26	A	B	B	B	B	77
5	加納中	北舎	校舎	3,661	S43	57	D	B	D	D	D	29
5	加納中	南舎	校舎	2,736	S49	51	A	B	D	D	D	36
5	加納中	図書館	校舎	406	H元	36	C	C	C	C	C	40
5	加納中	武道場棟	武道場	945	S58	42	C	C	C	C	C	40
5	加納中	屋内運動場	体育館	1,267	S59	41	B	C	B	B	B	65
6	長森中	中舎西	校舎	1,648	S48	52	D	B	D	D	D	29
6	長森中	南舎	校舎	3,525	S42	58	A	B	C	C	C	55
6	長森中	中舎東/武道場棟	校舎	4,015	S63	37	C	B	C	C	C	50
6	長森中	屋内運動場	体育館	1,527	H5	32	A	B	C	C	C	55
7	長良中	校舎	校舎・共	6,367	H元	36	C	C	C	C	C	40
7	長良中	屋内運動場棟	体育館	2,670	H元	36	C	C	C	C	C	40
7	長良中	武道場	武道場	614	H5	32	C	B	C	C	C	50
8	島中	北舎	校舎	3,483	S37	63	C	B	C	C	C	50
8	島中	中舎	校舎	2,874	S42	58	C	B	C	C	C	50
8	島中	南舎	校舎	976	S55	45	C	B	C	C	C	50
8	島中	武道場棟	武道場	1,142	S62	38	C	B	C	C	C	50
8	島中	屋内運動場	体育館	1,262	S53	47	B	B	B	B	B	75

※築年数 : 2025年(令和7年)時点の年数を示す。

※建物用途の“共”は、共同調理場を示す。

3. 学校施設の実態

A : 概ね良好 C : 広範囲に劣化
 : 築50年以上 : 築30年以上 B : 部分的に劣化 D : 早急に対応する必要がある

建物基本情報							劣化状況評価					
番号	施設名	建物名	建物用途	保有量 (㎡)	建築年	築年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
9	岩野田中	校舎	校舎	4,864	S46	54	B	B	B	D	D	58
9	岩野田中	武道場棟	武道場	1,191	S59	41	D	B	B	B	B	70
9	岩野田中	屋内運動場	体育館	1,312	H3	34	B	B	B	B	B	75
10	精華中	北舎	校舎	2,435	S40	60	B	A	D	D	D	41
10	精華中	南舎	校舎	4,693	S48	52	B	A	D	D	D	41
10	精華中	武道場棟	武道場	1,267	S63	37	C	C	C	C	C	40
10	精華中	屋内運動場	体育館	1,271	S52	48	B	C	C	C	C	43
11	藍川中	北舎東	校舎	2,854	S43	57	C	B	C	C	C	50
11	藍川中	南舎西	校舎	2,569	S50	50	B	B	B	D	D	58
11	藍川中	南舎東	校舎	771	H4	33	C	C	C	C	C	40
11	藍川中	武道場棟	武道場	1,217	S59	41	B	C	C	C	C	43
11	藍川中	屋内運動場	体育館	1,340	H5	32	B	B	B	B	B	75
12	三輪中	西舎	校舎	1,670	S37	63	D	B	D	D	D	29
12	三輪中	東舎	校舎	3,795	S57	43	C	B	C	C	C	50
12	三輪中	屋内運動場棟	体育館	1,965	H元	36	B	B	B	B	B	75
13	岐北中	北舎	校舎	2,036	S57	43	C	B	C	C	C	50
13	岐北中	中舎	校舎	3,393	S45	55	D	B	B	D	D	53
13	岐北中	南舎	校舎	2,504	S56	44	C	B	C	C	C	50
13	岐北中	屋内運動場棟	体育館	1,940	S63	37	A	B	B	B	B	77
14	厚見中	校舎	校舎	5,857	S56	44	A	A	B	C	C	75
14	厚見中	屋内運動場	体育館	1,267	S56	44	B	B	C	C	C	53
14	厚見中	武道場	武道場	747	H5	32	B	B	B	B	B	75
15	青山中	校舎	校舎	5,694	S50	50	A	B	D	D	D	36
15	青山中	武道場棟	武道場	1,125	S62	38	A	C	C	C	C	45
15	青山中	屋内運動場	体育館	1,271	S50	50	A	C	C	C	C	45
16	陽南中	東舎	校舎	3,638	S55	45	B	B	C	C	C	53
16	陽南中	西舎	校舎	4,006	S55	45	C	B	C	C	C	50
16	陽南中	屋内運動場	体育館	1,267	S56	44	C	C	C	C	C	40
16	陽南中	武道場	武道場	569	S60	40	B	B	B	B	B	75
17	藍川東中	校舎	校舎	6,256	S56	44	C	B	C	C	C	50
17	藍川東中	屋内運動場	体育館	1,267	S56	44	C	B	C	C	C	50
17	藍川東中	武道場	武道場	803	H2	35	B	B	B	B	B	75
18	岐阜西中	北舎西	校舎	3,536	S58	42	C	A	C	C	C	57
18	岐阜西中	北舎東	校舎	1,240	H25	12	A	A	A	A	A	100
18	岐阜西中	南舎	校舎	2,065	S58	42	A	A	C	C	C	62
18	岐阜西中	屋内運動場	体育館	1,267	S58	42	B	B	C	C	C	53
18	岐阜西中	武道場	武道場	746	H2	35	B	B	B	B	B	75
19	長森南中	校舎	校舎	5,561	S62	38	C	B	C	C	C	50
19	長森南中	屋内運動場棟	体育館	2,738	S62	38	C	B	C	C	C	50
19	長森南中	武道場	武道場	682	H3	34	C	B	B	B	B	72

3. 学校施設の実態

A : 概ね良好 C : 広範囲に劣化
B : 部分的に劣化 D : 早急に対応する必要がある

建物基本情報							劣化状況評価					
番号	施設名	建物名	建物用途	保有量 (㎡)	建築年	築年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
20	東長良中	校舎	校舎	7,676	S62	38	C	C	C	C	C	40
20	東長良中	屋内運動場	体育館	1,278	S62	38	C	B	B	B	B	72
21	境川中	北舎	校舎	2,930	S50	50	A	D	D	D	D	18
21	境川中	南舎西	校舎	4,531	H21	16	A	A	A	A	A	100
21	境川中	南舎東	校舎	796	S59	41	B	C	C	C	C	43
21	境川中	屋内運動場	体育館	1,362	S51	49	A	B	C	C	C	55
21	境川中	武道場棟	武道場・共	794	H4	33	A	B	B	B	B	77
22	草潤中	北舎	校舎	4,260	S53	48	C	B	B	C	C	63
22	草潤中	南舎	校舎	345	S55	46	B	B	C	C	C	53
22	草潤中	屋内運動場	体育館	792	S47	54	C	B	B	B	B	72

【義務教育学校（全1校）】

建物基本情報							劣化状況評価					
番号	施設名	建物名	建物用途	保有量 (㎡)	建築年	築年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
1	藍川北学園	校舎	校舎	3,543	S61	39	C	A	C	C	C	57
1	藍川北学園	屋内運動場棟	体育館・共	2,613	S61	39	C	A	C	C	C	57
1	藍川北学園	武道場棟	武道場	1,374	S61	39	C	A	C	C	C	57
1	旧藍川小学校	屋内運動場	体育館	1,129	H6	31	B	B	B	B	B	75

【幼稚園（全2園）】

建物基本情報							劣化状況評価					
番号	施設名	建物名	建物用途	保有量 (㎡)	建築年	築年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
1	加納幼稚園	園舎	園舎	1,737	S56	44	C	B	B	C	C	63
2	岐阜東幼稚園	園舎	園舎	1,312	S48	52	B	B	C	C	C	53

【特別支援学校（全1校）】

A : 概ね良好	C : 広範囲に劣化
B : 部分的に劣化	D : 早急に対応する必要がある

建物基本情報							劣化状況評価					
番号	施設名	建物名	建物用途	保有量 (㎡)	建築年	築年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
1	岐阜特別支援学校	北舎	校舎	9,118	H4	33	C	B	B	B	B	72
1	岐阜特別支援学校	中舎	校舎	2,955	H15	22	A	B	B	B	B	77
1	岐阜特別支援学校	南舎	校舎	957	H28	9	A	A	A	A	A	100

【高等学校（全1校）】

建物基本情報							劣化状況評価					
番号	施設名	建物名	建物用途	保有量 (㎡)	建築年	築年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
1	岐阜商業高等学校	校舎	校舎	5,324	S44	56	D	B	C	C	C	48
1	岐阜商業高等学校	武道場	武道場	1,051	S48	52	A	B	C	C	C	55
1	岐阜商業高等学校	屋内運動場	体育館	2,606	H10	27	B	B	B	B	B	75
1	岐阜商業高等学校	セミナーハウス	その他	1,173	S62	38	C	C	B	C	C	53

【その他施設（全2施設）】

建物基本情報							劣化状況評価					
番号	施設名	建物名	建物用途	保有量 (㎡)	建築年	築年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
1	旧芥見南小学校(教育研究所)	北舎	その他	1,319	S54	46	C	C	B	C	C	53
1	旧芥見南小学校(教育研究所)	中舎	その他	2,232	S54	46	B	C	B	C	C	56
1	旧芥見南小学校(教育研究所)	南舎	その他	2,539	S54	46	B	C	B	C	C	56
1	旧芥見南小学校(教育研究所)	体育館	その他	983	S54	46	A	C	B	C	C	58
2	旧岐阜養護学校	校舎	その他	3,303	S44	56	C	B	B	C	C	63
2	旧岐阜養護学校	体育館	その他	497	S55	45	C	B	B	C	C	63

※築年数 : 2025年(令和7年)時点の年数を示す。

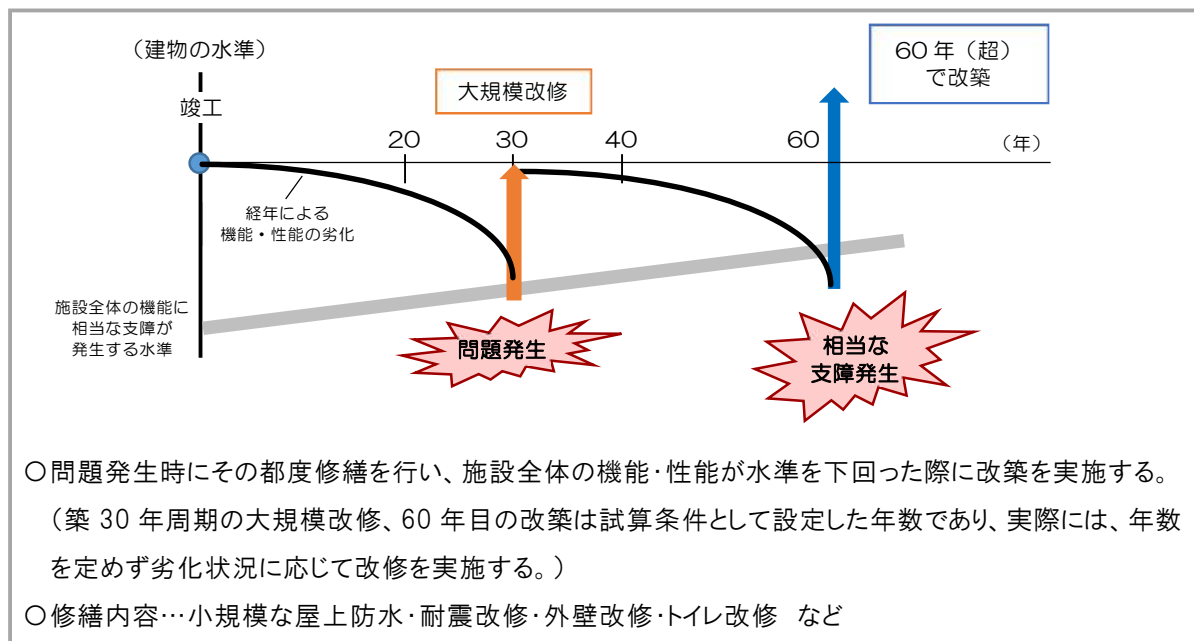
2) 今後の維持・更新コスト（従来型）

学校施設の建築時期は、昭和 40 年代から昭和 50 年代に集中しています。

そのため、建築後 30 年で大規模改修を実施し、60 年で改築を行う従来型の更新サイクルを想定した場合の、今後の維持・更新コストを試算しました。

なお、令和 8 年度からの 5 年間については、児童生徒の健康を守り、より良い学習生活環境を実現するため、照明の LED 化及び教室のエアコンを更新することとし、これらの費用が含まれています。

【従来型（事後保全）のイメージ】

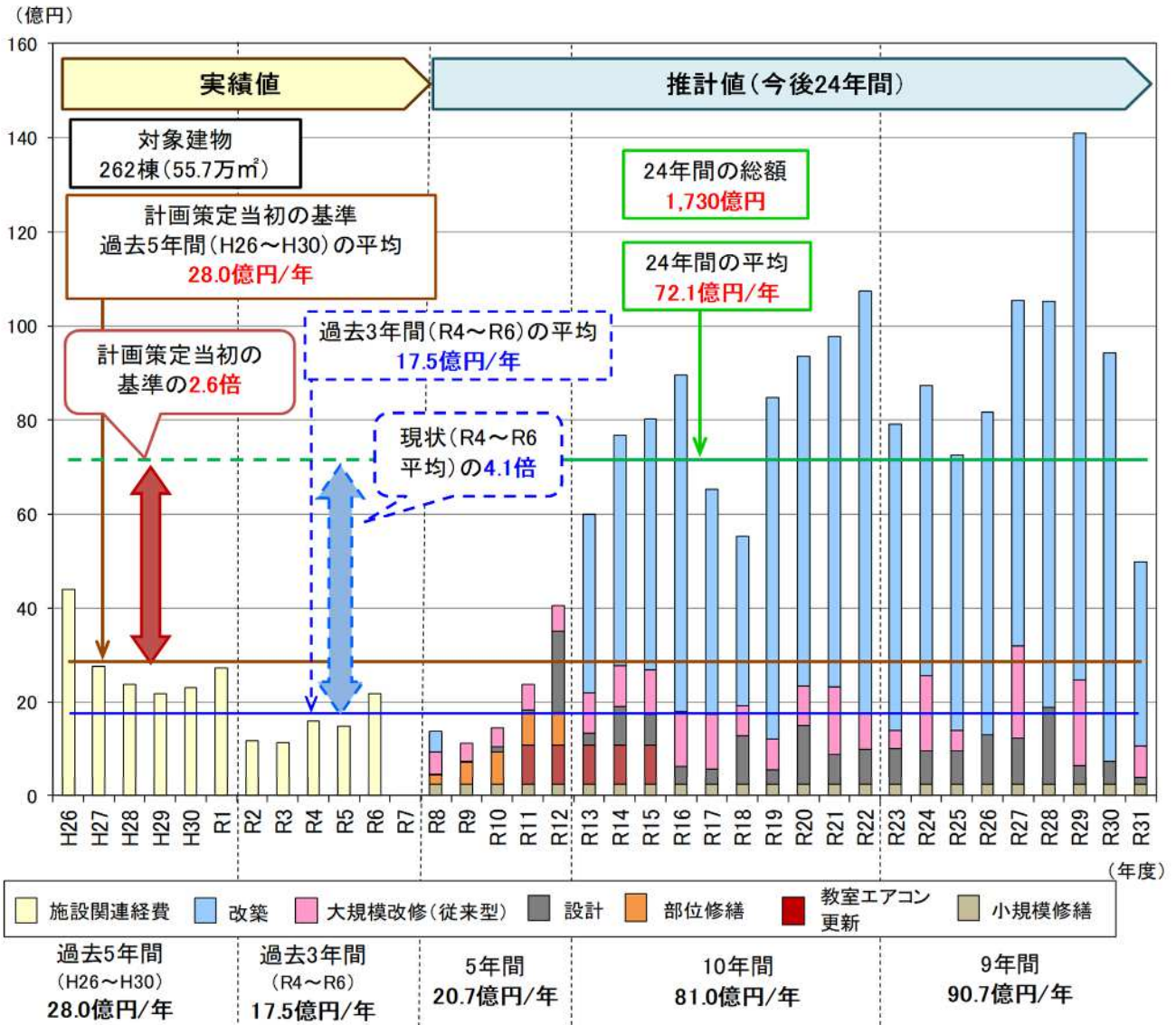


従来型の試算結果は次頁のとおりとなります。

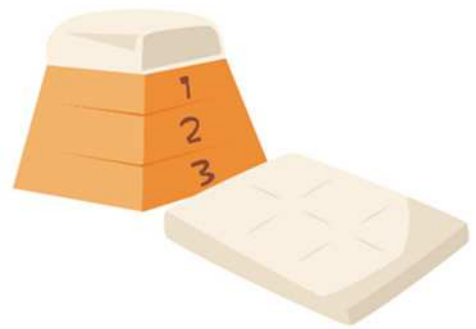
改築単価を、岐阜市公共施設等総合管理計画が示す 330,000 円/m²（設計費 10%を含む。）に物価高騰分を補正（建設物価 建築費指数より）した 400,000 円/m²、大規模改修の単価を、改築単価の 60%とした場合、今後 24 年間の維持・更新コストは総額 1,730 億円、年平均で 72.1 億円必要となります。これは、計画策定当初に設定した平成 26 年度から平成 30 年度までの 5 年間に要した施設関連経費（以下、「当初基準」という。）の年平均である 28.0 億円の 2.6 倍になります。

また、令和 13 年度から令和 22 年度の 10 年間では、改築が集中するため、年平均 81.0 億円のコストがかかることとなります。これは、過去 5 年の平均（28.0 億円/年）の 2.9 倍のコストが 10 年間続くということであり、市の財政事情からみて極めて厳しい水準です。

そのため、目標使用年数を 80 年と設定し、建築後 20 年と 60 年で大規模改修、40 年で長寿命化改修を行う、長寿命化型の更新サイクルへと切り替え、ライフサイクルコストを軽減したうえで、さらに財政負担を平準化していくことが学校施設の維持のためには必要不可欠となります。



【今後の維持・更新コスト (従来型)】





4. 学校施設整備の基本的な方針等

4. 学校施設整備の基本的な方針

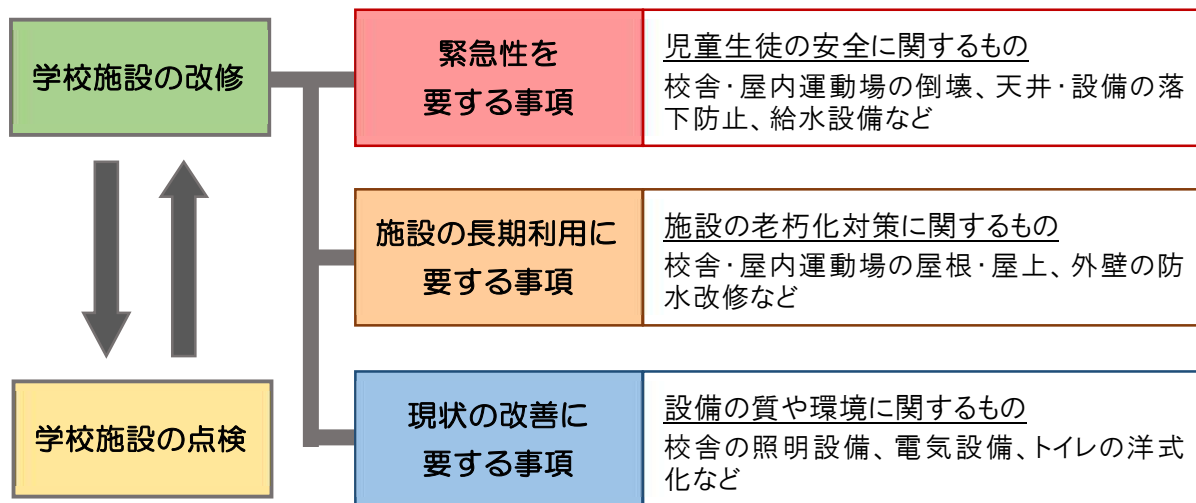
学校施設の実態を踏まえ、今後の学校施設整備の基本的な方針を以下に定めます。

(1) 維持管理の方針

本市の学校施設の多くは建築後 40 年以上が経過し、老朽化が進行しています。施設の老朽化対策に要する費用として、校舎や屋内運動場は多額の費用を要するため、設備の劣化や不具合を定期的に把握するための点検が重要であるとともに、設備の不具合が軽度なうちに対策を講じることが将来的な財政支出の軽減につながります。

しかし、既に老朽化が進行している現状において、対策を講じるための財政支出にも限度があることから、児童生徒の安全に関する「緊急性を要する事項」、施設の老朽化対策に関する「施設の長期利用に要する事項」、設備の質や環境に関する「現状の改善に要する事項」に分類し、優先順位を付けて財政負担の平準化を図りながら、維持管理を行うこととします。

【維持管理の基本方針】



(2) 改修の方針

これまで学校施設の改修は、劣化状況に応じて部分的な修繕を行い、機能を回復させる事後保全により行ってきました。今後は、建物を長寿命化するため、予防保全としての大規模改修や長寿命化改修を行います。

今後は、前述の「構造躯体の健全性の評価」の考え方に従い、長寿命化改修の実施が可能かどうかを建物毎に判定し、「長寿命化型」または「従来型」いずれかの改修周期を設定して改修を実施することとします。また、給食共同調理場もあわせて検討していきます。

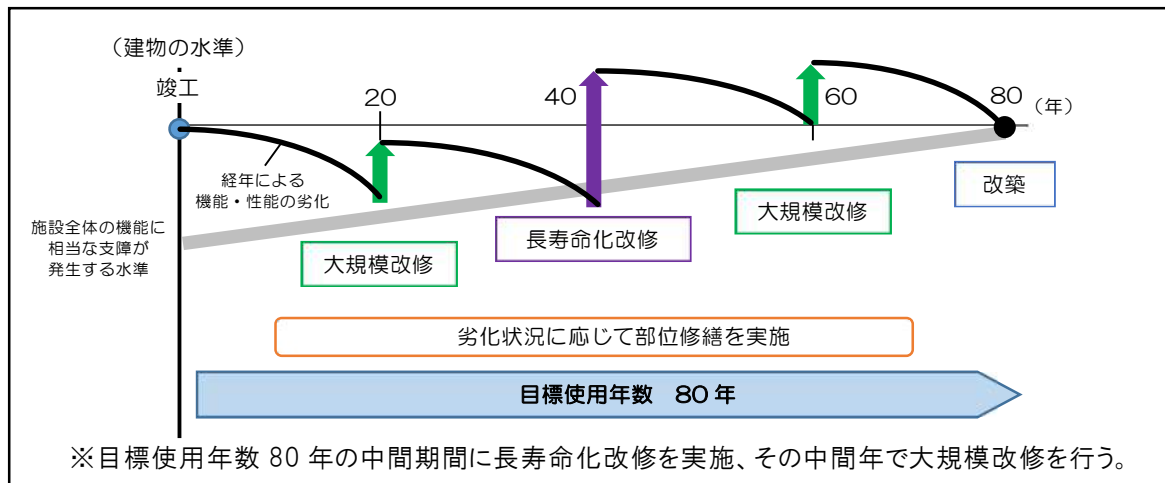
なお、次頁以降に、建物の管理方針毎の改修周期の考え方を示します。

(参考) 維持管理と改修の説明

	対策内容	説明
維持管理	部位修繕	経年劣化した建物の部分を、既存のものと同様の位置に、概ね同じ材料、形状、寸法のものを用いて原状回復を図ること
改修	大規模改修	断熱化等のエコ改修や老朽化した外装・内装等の改修など、経年劣化した建物や設備の大部分を改修し、原状回復を図ること
	大規模改修 (従来型)	同上 (ただし、事後保全的な対応となり、壊れてから直すことになるため、コストは高くなると設定)
	長寿命化改修	長寿命化を行うために、物理的な不具合を直し耐久性を高めることに加え、機能や性能を現在の求められる水準まで引き上げる改修を行うこと
	更新 (= 改築)	老朽化により構造上危険な状態にいたり、教育上、著しく不適当な状態にいたりする既存の建物を改築すること

4. 学校施設整備の基本的な方針

【長寿命化型（予防保全の建物）の改修・改築イメージ】



【経過年数ごとの考え方】

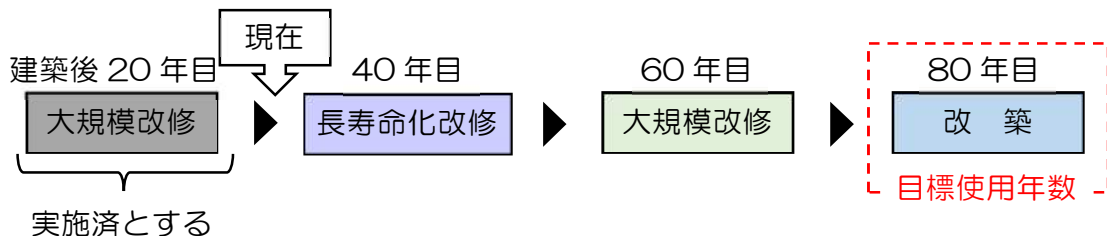
○現在の築年数が 20 年以下の棟

建築後 20 年目から計画的に予防保全を実施する。



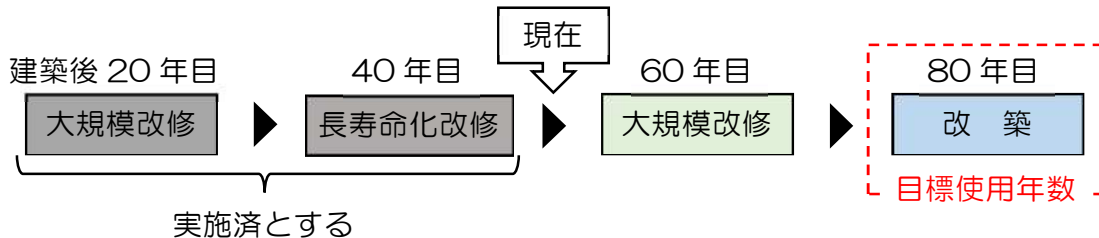
○現在の築年数が 21 年～39 年の棟

建築後 40 年目に長寿命化改修を行い、60 年目に大規模改修を行う。



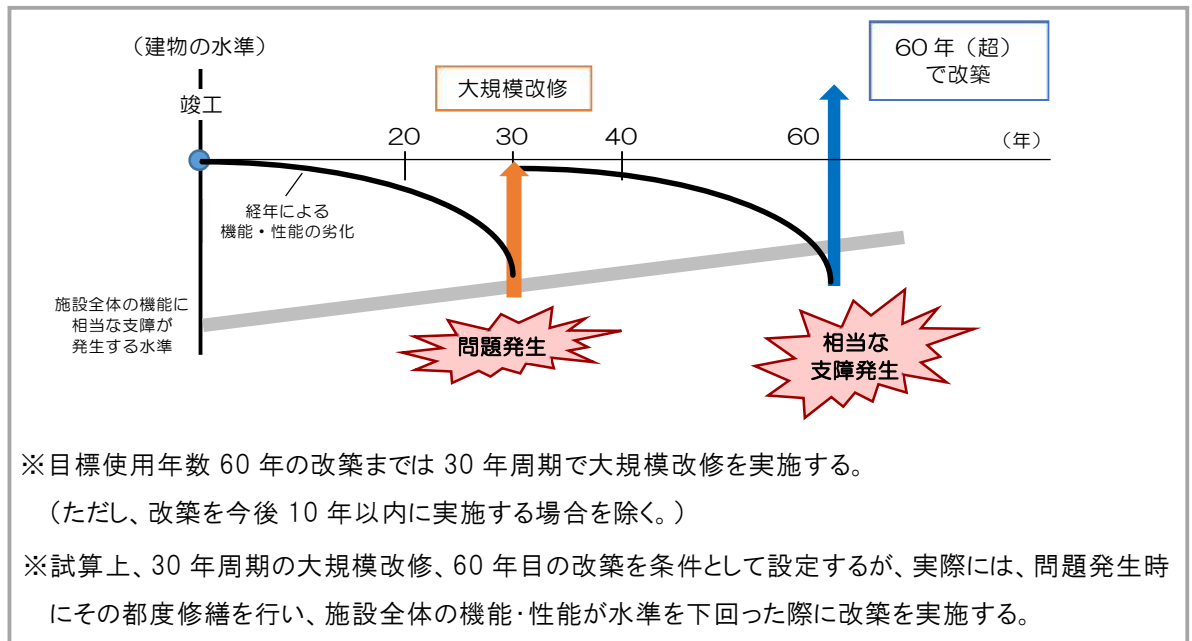
○現在の築年数 40 年～59 年の棟

建築後 60 年目に大規模改修を行い、80 年目を目途に改築を行う。



※構造躯体以外の劣化状況が C・D 評価である場合は、経過年数に関わらず、速やかに部位修繕を実施する。(ただし、改築、長寿命化改修、大規模改修を今後 10 年以内に実施する場合を除く。)

【従来型（事後保全の建物）の改修イメージ】



【経過年数ごとの考え方】

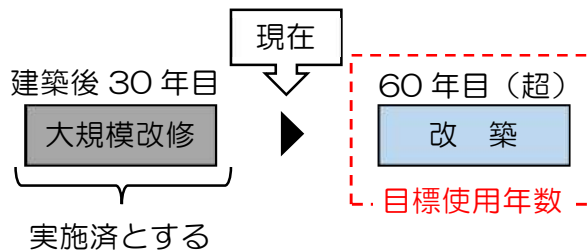
○現在の築年数が 1 年～29 年の棟

建築後 30 年目に大規模改修を行い、建築後 60 年目に改築を行う。



○現在の築年数 30 年～59 年の棟

建築後 60 年目に改築を行う。既に 60 年を超えているものについては、速やかに改築を行う。



※構造躯体以外の劣化状況が C・D 評価である場合は、経過年数に関わらず、速やかに部位修繕を実施する。(ただし、改築、大規模改修を今後 10 年以内に実施する場合を除く。)

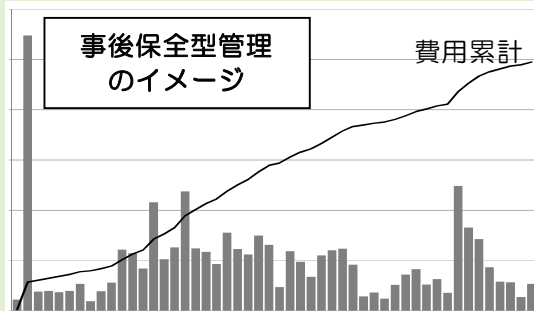
上記の考え方を基本とし、個別の健全度、学校規模適正化対象の状況、国の補助要件などを考慮しながら、詳細の事業を決定します。

(3) 方針を踏まえた検討ステップ

(1)、(2) の方針を踏まえ、「従来型の維持・更新コストの試算」を基に、「長寿命化型の維持・管理コストの試算」を行います。

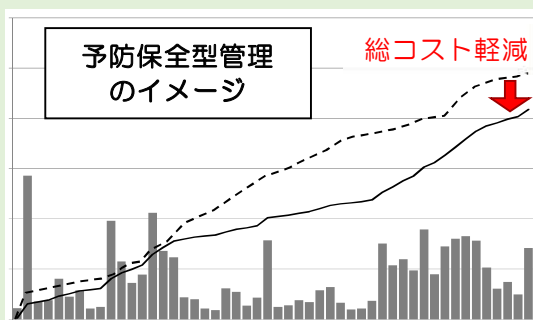
そのうえで、一定期間のコストを平準化するため、「平準化を考慮した維持・更新コスト」の試算を行います。

【STEP1】従来型の維持・更新コストの試算 (P36)



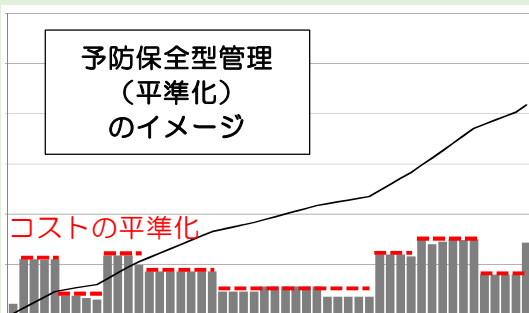
耐用年数を迎えた時点で改築費用を計上しているため、グラフに凹凸が生じます。

【STEP2】長寿命化型の維持・更新コストの試算 (P51)



長寿命化することにより、事後保全型管理に比べて改築費用及び総コストが軽減されます。

【STEP3】平準化を考慮した維持・更新コストの試算 (P54)



予防保全型管理に対し、予算の目安を段階的に設定することで、一定期間ごとに平準化されます。



5.基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

5. 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

(1) 改修等の整備水準

本市の学校施設は、これまで不具合や故障が生じてから対応する事後保全が主でした。そして新築時が最も良い状態として、経年劣化による老朽化によって50~60年超で改築を行ってきました。これからは、以下に示す整備水準を目指して、長寿命化改修、大規模改修を進めていくことで、建物本来の寿命として構造躯体の耐用年数と考えられる80年まで使用することを目標とします。

【改修等の整備水準】

部 位		長寿命化改修 (40年周期)	大規模改修 (20年周期)	現状の整備
外部	屋 根	陸屋根	シート防水+断熱材	シート防水
		勾配屋根	ステンレス製屋根・ガルバリウム鋼板	スチール鋼板
	外 壁	外壁高耐久塗装	外壁塗装	塗装なし
		中性化対策	浮き、ひび割れ補修	
	外部開口部	断熱アルミサッシ	既設サッシ+目地取替え	
		複層ガラス	普通ガラス(既存)	
内部	内部仕上げ	全面撤去更新 (木質化)	床補修(部分補修)、壁・天井塗替え	
	トイレ(内装)	乾式化	タイル張替え、 ブース補修	
設備	受変電設備	更新		
	照明器具	LED化		
	給水設備	加圧給水方式・ステンレス製水槽	FRP製水槽	
	トイレ(設備)	洋式便器	既設便器	
		手洗い自動水洗	手洗い手動水洗	
空調設備	更新			
インフラ	給排水管	配管交換	既設利用	
	電気ケーブル	配管交換	既設利用	
	ガス管	配管交換	既設利用	
その他	バリアフリー	段差解消、スロープ設置、手摺設置	既存のまま	
		多目的トイレ		
学習環境	ワークスペース ・少人数学習等	既存のまま		

高

整備水準

低

(2) 維持管理の項目・手法等

1) 点検の実施

各学校施設の維持管理を効率的・効果的に実施するため、3年ごとに行っている建築基準法第12条に基づく定期の報告、検査等（12条点検）の検査報告により、漏水や外壁材の剥落等の緊急性のある危険箇所が発見された場合は、応急措置を取るほか、専門技術者による判断を仰ぎ、適切な対応を行い、維持管理に努めます。

【建築基準法第12条に基づく定期の報告、検査等（12条点検）】

調査項目		主な項目
敷地	敷地・地盤	地盤の状況、敷地の状況
	空地・通路等	避難経路の状況 等
	工作物等	ブロック塀、コンクリート塀等の劣化・損傷状況 等
外壁	外壁の防火性能	防火対策の状況
	建物躯体	鉄骨造の劣化・損傷状況 構造強度の確保の状況 等
	外装仕上げ材等	タイル、モルタル、石はり等の劣化・損傷状況（外装材）
	窓・サッシ等	サッシ等の劣化・損傷状況 ガラスの固定状況
	看板、空調室外機等	緊結等の状況
屋上・屋根	防水層	露出防水層の劣化・損傷状況
	屋上・屋根面	パラペット等の劣化・損傷状況 屋根ふき材等の劣化・損傷状況 等
	機器、工作物（空調室外機、クーリングタワー、広告塔、高架・高置水槽、手すり等）	緊結等の状況 劣化・損傷状況
建物内部	防火区域等の構成	防火区画を構成する床、壁、柱、はりの状況 吹き抜けなどのたて穴区画の状況 等
	防火設備（扉等）	防火扉等の設置状況 防火扉等の維持保全状況 等
	防火設備（防火シャッター）	防火シャッターの設置状況 防火シャッターの維持・保全状況 等
	防火区画貫通部	
	内装・収納物等	内装材等の状況
	警報設備	警報設備保設置、劣化、損傷状況
	建物躯体等（内部からの点検）	建物躯体の劣化・損傷状況
	居室の採光・換気 雨漏り・漏水等	採光の確保の状況
避難施設等・非常用進入口等	避難経路等	避難出口・通路等の状況 2方向避難の確保状況
	階段	階段の状況（共通）
	排煙設備	
	その他の設備	非常用進入口等の状況



6.長寿命化の実施計画

6. 長寿命化の実施計画

(1) 改修等の優先順位付けと実施計画

1) 改修の順位と単位

学校施設等の整備を進めるにあたり、今後の維持・更新コストの試算結果に従って実施した場合、年度によってコストのばらつきが生じるため、対策の優先順位付けを行うことで、コストの平準化を検討します。

平準化については、施設の劣化状況や築年数などを考慮し、健全度（各建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標）がより低い建物から優先的に、改修の実施を検討します。

2) 健全度の算定（再掲）

健全度とは、各建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標です。

①部位の評価点と②部位のコスト配分を次表のように定め、③健全度を100点満点で算定します。

①部位の評価点

判定	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

②部位のコスト配分

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	5.1
2 外壁	17.2
3 内部仕上げ	22.4
4 電気設備	8.0
5 機械設備	7.3
計	60

③健全度

$$\text{総和（部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分）} \div 60$$

※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割ります。

※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示します。

<健全度計算例>

	評価		評価点	×	配分	=		
1 屋根・屋上	C	→	40	×	5.1	=	204	
2 外壁	D	→	10	×	17.2	=	172	
3 内部仕上げ	B	→	75	×	22.4	=	1,680	
4 電気設備	A	→	100	×	8.0	=	800	
5 機械設備	C	→	40	×	7.3	=	292	
							計	3,148
								÷60
							健全度	52

（出典：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29年3月）文部科学省）

3) 優先順位付けの考え方

学校施設においては、児童・生徒が安全安心な環境で公平に教育を受けることができることを目指す中で、施設の重要性に違いはないことから、改修・改築の優先順位は、施設の健全度によって決まるものとし、健全度が低く全体的に老朽化が進行している施設から順に、対策を実施するものとします。

(2) 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果

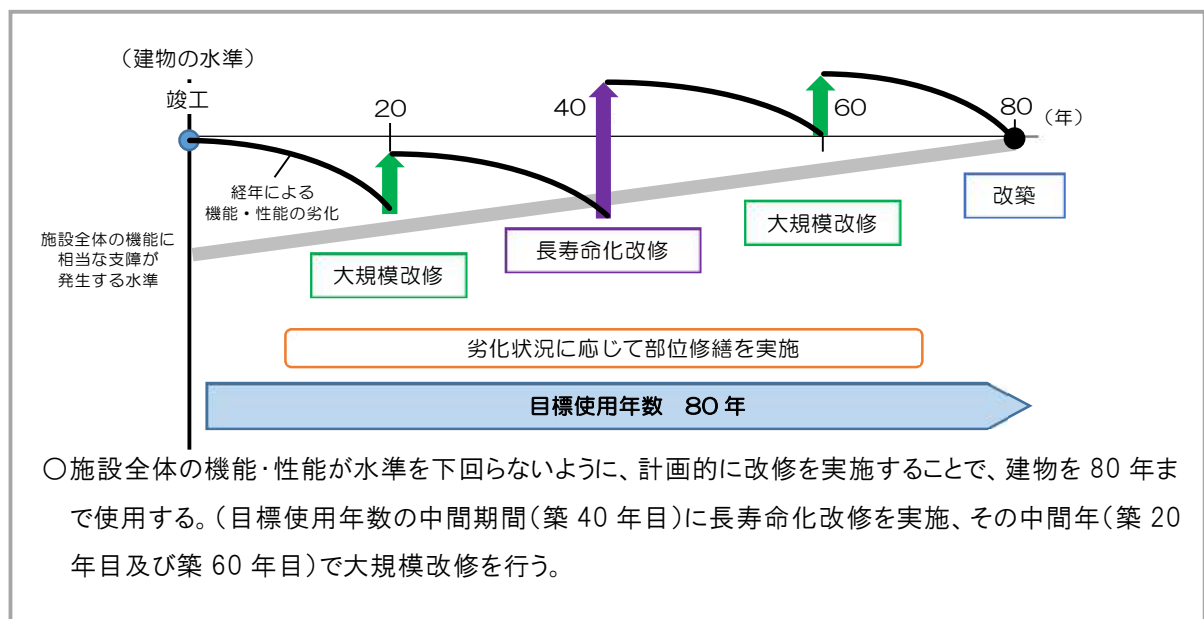
1) 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

改築中心の従来型から長寿命化型に切り替えていくためには、計画的に機能向上と機能回復を図る修繕・改修を建物全体で実施する必要があります。

そこで、施設の劣化状況調査を行い、長寿命化が可能な施設を、従来型の更新サイクルから長寿命化型の更新サイクルに切り替えた試算を行いました。

長寿命化型の試算においても、従来型と同様に、令和8年度からの5年間については、照明のLED化及び教室エアコンの更新費用が含まれています。

【長寿命化型（予防保全）のイメージ】



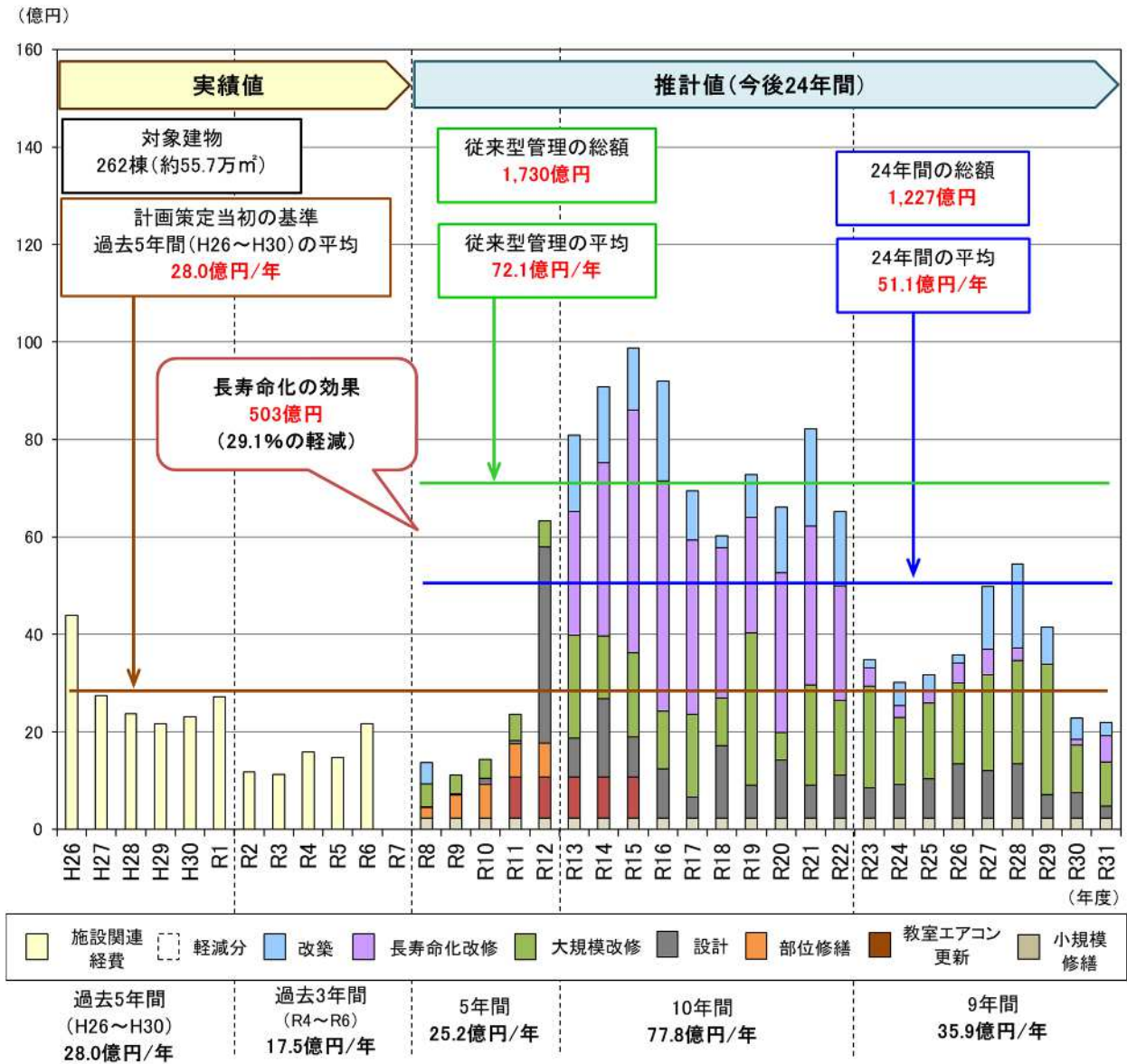
長寿命化型の試算結果は次頁のとおりとなります。

従来型から長寿命化型にシフトすることで、今後24年間の維持・更新コストは総額1,227億円となり、従来型の更新サイクルでの維持・更新コスト1,730億円と比較して、503億円（約29%）を軽減できる見込みとなりました。

しかし、年度によりコストのばらつきが生じることとなり、計画的な財政運営に支障が生じます。



6. 長寿命化の実施計画



【今後の維持・更新コスト（長寿命化型）】

なお、この試算については、技術水準や学校規模などが現状（令和8年開校予定の藍東学園は反映しています。）のままで推移すると仮定し、また現在の一般的な工事費を基にした概算の推計です。そのため、将来的な技術革新や人口動態、学校規模の変化、物価変動など社会経済状況の変化によっては試算結果とは異なった状況が生じる可能性もあります。

【試算条件】

以下を除き、「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成 29 年 3 月）文部科学省」及び付属のエクセルソフトの設定に準拠し、試算しています。

- 長寿命化改修の実施が可能かどうかを建物毎に判定し、改修周期を設定します。
 - ①長寿命化可能な建物は、築 40 年に長寿命化改修、築 20 年、築 60 年に大規模改修、築 80 年に改築すると設定します。
 - ②長寿命化改修が実施できない（改築を基本とする）建物は、築 60 年で改築すると設定します。
- 大規模改修、長寿命化改修、改築の前年に工事費の 10% を設計費として計上します。
- 今後 5 年間は、照明の LED 化及び教室エアコンの更新工事を行うため、大規模改修、長寿命化改修、改築の費用は計上しないものとします。

	目標使用年数	大規模改修の周期	長寿命化改修の周期	大規模改修（従来型）の周期
予防保全（長寿命）	80 年	築 20 年/築 60 年	築 40 年	—
事後保全（改築）	60 年	—	—	築 30 年

○築 20 年目、60 年目の大規模改修（予防保全）、築 30 年目の大規模改修（事後保全）

…経年劣化による損耗、機能低下に対する機能回復工事

- ・防水改修
- ・外壁改修
- ・劣化の著しい部位の補修
- ・故障、不具合の修繕 など

○築 40 年目の長寿命化改修（予防保全）

…経年劣化による機能回復工事と社会的要求に対応するための機能向上工事

- ・防水改修
- ・内部改修（床、壁、天井）
- ・外壁改修
- ・グラウンド改修
- など

2) 今後30年間におけるコストの平準化

長寿命化型の管理を実施した場合の維持・更新コストについて、安定的に維持・更新を行うには、コストの平準化が必要です。

改築の時期を建築から80年後へと延長し、長寿命化させるために機能向上と機能回復を図る修繕・改修を実施するためのコストを加え、そのうえで、コストの平準化をしました。

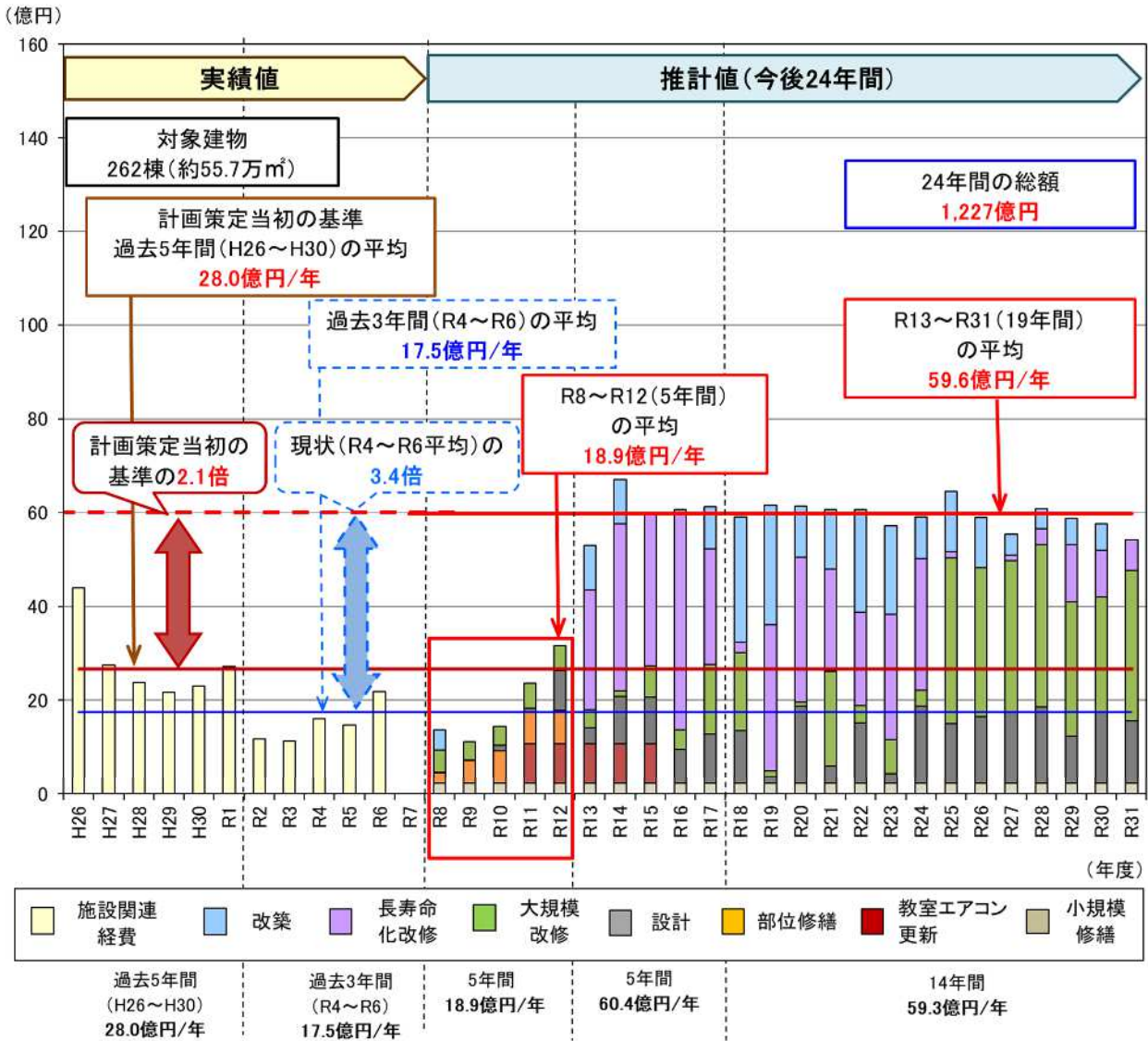
【平準化条件】

- 計画開始時点で改築時期を既に過ぎている棟及び直近5年間に対策時期を迎えるものの部位修繕を優先することにより実施できない棟については、積み残し工事として、部位修繕が完了するR13年度以降に優先的に計上します。
- R8年度については予算計画に合わせて計上し、R9年度からは部位修繕（D判定含むを優先）→積み残し工事→それ以外の工事の順で計上します。
- R13年度以降は、健全度の低い順→建築年度が古い順→建物面積が大きい順で優先的に計上し、各年度で予算上限を上回る場合、翌年度に先送りとします。ただし、ちょうど予算上限を上回る順位の棟の工事金額が大きい場合で、それより下位の順位でも予算上限に収まる金額の工事がある場合には、繰り上げて実施します。
- 予算上限を優先し、先送り期間の制限は行わないものとしています。
- 健全度は本来、経年で低下していきませんが、劣化予測の精度が確保できないため、計画策定時点での健全度で試算しています。

今後の学校施設の維持・更新等に係るコストを平準化した結果は次頁に示すとおりです。

本計画においては、令和8年度から令和12年度まで（今後5年間）は、過去3年間（令和4年度から令和6年度まで）に要した経費の平均である17.5億円/年、令和13年度から令和31年度まで（19年間）は、24年間の維持・更新コストの総額から今後5年間のコストを除いた金額の平均である59.6億円/年を予算の目安として設定しています。ただし、この金額が毎年予算化されることが確約されている訳では無いため、あくまでも制約条件として設定した金額となります。





【今後の維持・更新コスト（長寿命化型＋平準化）】

試算の結果、今後24年間の維持・更新コストは総額1,227億円となり、従来型の更新サイクルでの維持・更新コスト1,730億円と比較して、503億円(約29%)を軽減できる見込みとなりました。

しかし、令和13年度以降の19年間にわたって、当初基準28.0億円の2.1倍の59.6億円/年のコストが必要となります。

よって、長寿命化にとどまらない対応方策により維持・更新コストを軽減する必要があります。

(3) 維持・更新の課題と今後の方針

1) 上位計画における今後の方針

学校施設長寿命化計画の今後の方針については、「岐阜市公共施設等総合管理計画」に基づくものとします。

—今後 10 年間に於ける公共施設等マネジメントの基本方針—

基本方針
1

公共施設等の点検、診断を進め、それに基づく予防保全を的確に実施することにより、公共施設等の安全確保と施設の長寿命化によるライフサイクルコストの低減及び更新費用の平準化を図る。

取組方針 1-①	統一的な基準に基づく、維持・更新の合理化
取組方針 1-②	効果的かつ効率的な定期点検による、安全性の確保
取組方針 1-③	長期的な視点に基づく、更新費用等の平準化
取組方針 1-④	予防保全型管理の導入による、長寿命化とライフサイクルコストの低減
取組方針 1-⑤	民間活力の活用による、維持管理コストの縮減
取組方針 1-⑥	修繕・更新時における、環境への配慮と機能性の向上
取組方針 1-⑦	メンテナンスに対する、職員の技術力の向上
取組方針 1-⑧	インフラ資産における、メンテナンスサイクルの構築
取組方針 1-⑨	公共施設等適正管理推進事業債等の活用による財政負担の軽減

基本方針
2

公共施設等にかかるコストの縮減と公共施設等を活用した新たな財源を確保することにより、財政負担の軽減を図る。

取組方針 2-①	公共施設等の有効活用
取組方針 2-②	民間活力の活用による、質の高い公共サービスの提供
取組方針 2-③	受益者負担の適正化
取組方針 2-④	未利用地・低利用地等の効果的な活用

基本方針
3

社会情勢の変化に対応し、必要な施設は造り、ニーズに合わない施設は見直すことにより、施設の最適化を図る。

取組方針 3-①	市民ニーズ等の的確な把握による、公共施設等の必要性及びあり方の検討
取組方針 3-②	利用状況やコスト状況等に応じた、施設総量の最適化
取組方針 3-③	立地適正化計画等の関連計画との連携強化
取組方針 3-④	用途廃止した施設等の適正な処分

(出典：岐阜市公共施設等総合管理計画)

ー施設類型ごとのマネジメントに関する基本方針ー

【小学校】
<p>○策定した「岐阜市学校施設長寿命化計画」に基づき、予防保全を実施するなど計画的な施設保全により施設の長寿命化を図ることで、維持管理・更新費用の低減を行い、持続可能な学校施設の維持・更新を目指します。</p> <p>○施設の更新時には、維持管理の容易性やコスト面に配慮した設計を行います。</p> <p>○施設の更新時に太陽光発電をはじめとした自然エネルギーを活用した設備の設置を図るなど、環境への配慮に努めます。</p>
【中学校】
<p>○施設の更新時には、維持管理の容易性やコスト面に配慮した設計を行います。</p> <p>○施設の更新時に太陽光発電をはじめとした自然エネルギーを活用した設備の設置を図るなど、環境への配慮に努めます。</p> <p>○策定した「岐阜市学校施設長寿命化計画」に基づき、予防保全を実施するなど計画的な施設保全により施設の長寿命化を図ることで、維持管理・更新費用の低減を行い、持続可能な学校施設の維持・更新を目指します。</p>
【幼稚園】
<p>○施設の更新時には、国の制度や子どもの数の推移、民間事業者の推移を見据えて、適正規模を検討します。</p> <p>○施設の更新時は、維持管理の容易性やコスト面に配慮した設計を行います。</p>
【特別支援学校】
<p>○建物や設備の劣化状況を把握し、計画的なメンテナンスを行うことで、施設をより長く安全に使用できるように取り組みます。</p>
【高等学校】
<p>○岐阜市学校施設長寿命化計画に基づく計画的な施設保全により施設の長寿命化を図ることで、維持管理・更新費用の低減を行い、持続可能な学校施設の維持・更新を目指します。</p> <p>○上記計画に基づき、早急に対応する必要がある部位の修繕、また、体育館へのエアコン設置を中心に整備を行います。</p> <p>○建築基準法等の法定点検を実施するとともに、管理者点検マニュアルに基づき年に1回以上簡易的な点検を実施することで、不具合箇所の早期発見及び早期対処に努め、施設の安全性を確保していきます。</p> <p>○他都市の市立高等学校や、県内の公立高等学校の動向を踏まえ、充て可能な財源を増やす取組みを検討していきます。</p> <p>○施設の更新時には、人口減少による本校定員数の削減の可能性等を踏まえて、延床面積の減築等も考慮していきます。</p>

(出典：岐阜市公共施設等総合管理計画)

2) 維持・更新の課題と今後の方針

長寿命化が可能な施設を、長寿命化型の更新サイクルにしたとしても、維持・更新コストは現在の水準よりも上回るという状況です。加えて、人口減少による収収減や建設業の人手不足による建築単価の上昇などの要因もあり、施設の維持・更新は一層厳しくなることが想定されます。

さらに、少子化が進み、児童生徒が減少していくことが見込まれる中、すべての学校施設を保有したまま、長寿命化を行っていくことは適切ではありません。

そこで、持続可能な学校施設の維持・更新をしていくには、学校施設の配置や規模の適正化、また維持・更新時のコスト軽減など多面的な見直しを行うことが必要です。見直しについては、地域や学校などと十分な議論を行いながら、今後進めてまいります。

■ 多面的な見直しの例

【学校施設の配置や規模の適正化】

- ・ 児童生徒数や学級数の減少により、適正規模の維持が困難となった学校の統廃合
- ・ 施設一体型の義務教育学校、小中一貫校の整備
- ・ 幼稚園の統廃合や認定こども園への移行
- ・ 児童生徒数にあわせた減築
- ・ 学校施設の福祉・子育て支援機能等との複合化

【維持・更新時のコスト軽減】

- ・ PPPやPFIによる民間資金・ノウハウの活用
- ・ 先進的な工法や資材の活用による、建設コスト・維持管理コストの軽減
- ・ 改築時期等を一律に設定しない「超長寿命化」への転換
- ・ 国庫補助や地方債の活用による、実質的な市の負担額の軽減



ア) 学校の統廃合について

本市では、年少人口の減少等に伴い、小中学校の児童生徒数、学級数に不均衡が生じており、これまでも市中心部において小中学校の統廃合を進めてきているところです。

今後の宅地開発などで児童生徒数の増加が見込まれる学校も一部ありますが、市全体では更なる減少が見込まれています。国では望ましい学校規模や学級数を定めており、児童生徒数・学級数の推計をみると将来的に小規模校となる学校が増加していくことも予想され、更なる統廃合も検討する必要があります。

統廃合の検討にあたっては、

- ①小規模校となることの学校運営上の課題
- ②学級数が少なくなるに従い配置される教職員が少なくなるという課題
- ③児童生徒の通学距離が延びるという課題

などが挙げられます。

【望ましい学級数の考え方】

- ・小学校では、まず複式学級を解消するためには少なくとも1学年1学級以上（6学級以上）であることが必要となります。また、全学年でクラス替えを可能としたり、学習活動の特質に応じて学級を超えた集団を編成したり、同学年に複数教員を配置するためには1学年2学級以上（12学級以上）であることが望ましいものと考えられます。
- ・中学校についても、全学年でクラス替えを可能としたり、学級を超えた集団編成を可能としたり、同学年に複数教員を配置するためには、少なくとも1学年2学級以上（6学級以上）が必要となります。また、免許外指導をなくしたり、全ての授業で教科担任による学習指導を行ったりするためには、少なくとも9学級以上を確保することが望ましいものと考えられます。

（出典：「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」文部科学省）

小中学校の統廃合については、上記の3つの課題のほか地理的要因や地域事情、小規模校として存続させることも含め、多岐にわたる検討と地域や保護者等の合意形成も必要となります。

そうしたことから、今後の児童生徒数の動向を見極めながら、課題整理・合意形成などを踏まえ、統廃合を進めていきます。

6. 長寿命化の実施計画

イ) 義務教育学校、小中一貫校について

平成 28 年 4 月に小中一貫教育が新たに制度化されたことにより、義務教育学校や小中一貫型小学校・中学校は全国的に増加しています。

小中一貫教育では、小・中学校段階の教員が目指す子ども像を共有し、9 年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指しています。また、施設一体型として、学校施設を共有することで、小規模校の課題に対応しつつ、効率的な学校運営が期待されます。

なお、「藍川北学園」開校に伴い、旧藍川小学校において予定されていた大規模改修や長寿命化の事業費約 8.6 億円が軽減できました。また、「藍東学園」開校（令和 8 年 4 月予定）においては、藍川東中学校に係る大規模改修等の事業費約 13.1 億円の軽減を見込んでいます。

【小中一貫教育に関する制度の種類】

	義務教育学校	小中一貫型小学校・中学校	
		中学校併設型小学校 小学校併設型中学校	中学校連携型小学校 小学校連携型中学校
設置者	—	同一の設置者	異なる設置者
修業年限	9年 (前期課程6年＋ 後期課程3年)	小学校6年、中学校3年	
組織・運営	一人の校長、 一つの教職員組織	それぞれの学校に校長、教職員組織	
		小学校と中学校における 教育を一貫して施すため にふさわしい運営の仕組 みを整えることが要件	中学校併設型小学校と 小学校併設型中学校を 参考に、適切な運営体 制を整備すること
免許	原則小学校・中学校の 両免許状を併有	所属する学校の免許状を保有していること	
教育課程	・9年間の教育目標の設定 ・9年間の系統性・体系性に配慮がなされている教育課程の編成		
一貫教育に 必要な独自 教科の設定	○	○	○
指導内容の 入替え・移行	○	○	×
施設形態	施設一体型・施設隣接型・施設分離型		
設置基準	前期課程は小学校設置 基準、後期課程は中学 校設置基準を準用	小学校には小学校設置基準、 中学校には中学校設置基準を適用	
標準規模	18 学級以上 27 学級以下	小学校、中学校それぞれ 12 学級以上 18 学級以下	
通学距離	おおむね6km 以内	小学校はおおむね4km 以内、 中学校はおおむね6km 以内	
設置手続き	市町村の条例	市町村教育委員会の規則等	

(出典：「小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引」文部科学省)

ウ) 幼稚園の統廃合・認定こども園化について

近年の女性就業率の上昇により、保育ニーズが高まっている一方で、少子化の影響もあり、幼児の教育ニーズは減少傾向にあります。

本市においても、平成 24 年度に岐阜北幼稚園、平成 25 年度に大洞幼稚園を廃園し、現在は加納幼稚園と岐阜東幼稚園を存続していますが、いずれも小規模であり、公立幼稚園としての必要性を考慮し、存廃を検討する必要があります。また、保護者の就労の有無に関わらず、地域の子どもが公平に教育・保育を受けられる認定こども園へ移行し、保育ニーズを受け入れていくことも考えられます。

- ・認定こども園とは・・・教育・保育を一体的に行う施設で、いわば幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持っている施設です。幼稚園型の認定こども園は、認可幼稚園が、保育が必要な子どものための保育時間を確保するなど、保育所的な機能を備えて認定こども園としての機能を果たすタイプです。

エ) 余剰教室の複合化について

学校施設の複合化については、余剰教室の有効活用や児童生徒を含めた地域住民同士の交流機会の創出等が期待される一方で、関係者間の調整や施設整備上の配慮など実現に向けて様々な課題があります。

学校施設は、良好な教育環境だけでなく、地域のまちづくりや生涯学習、福祉・子育て支援の核としての機能も求められています。そのため、学校施設が児童生徒の教育の場であることを第一に考えた上で、地域のさまざまな人が利用することを踏まえ、学校施設の利活用について、次のことに配慮する必要があります。また、関係部局と連携し、学校と地域の双方にとって良好な環境となるよう検討します。

【学校の複合化において配慮すべきこと】

- ・地域利用部分の配置・・・校舎内で、最も利用しやすい学校門付近や外部階段のある校舎で直接出入りが可能な位置とします。
- ・地域利用部分のゾーニング・・・立ち寄りやすい雰囲気とするために、学校教育部分と地域利用部分を明確にゾーニングし、地域利用専用の玄関を設置します。
- ・児童生徒との接点・・・地域の活動に児童生徒が参加しやすい工夫や、地域の人たちが児童生徒を見守ることができる計画とします。



陶芸教室で交流する児童と地域住民
(いろは遊学館提供)



中学校の体育祭に保育園児も参加
(世田谷区教育委員会提供)



老人デイサービスセンターで交流する
児童と高齢者 (宇治市教育委員会提供)

6. 長寿命化の実施計画

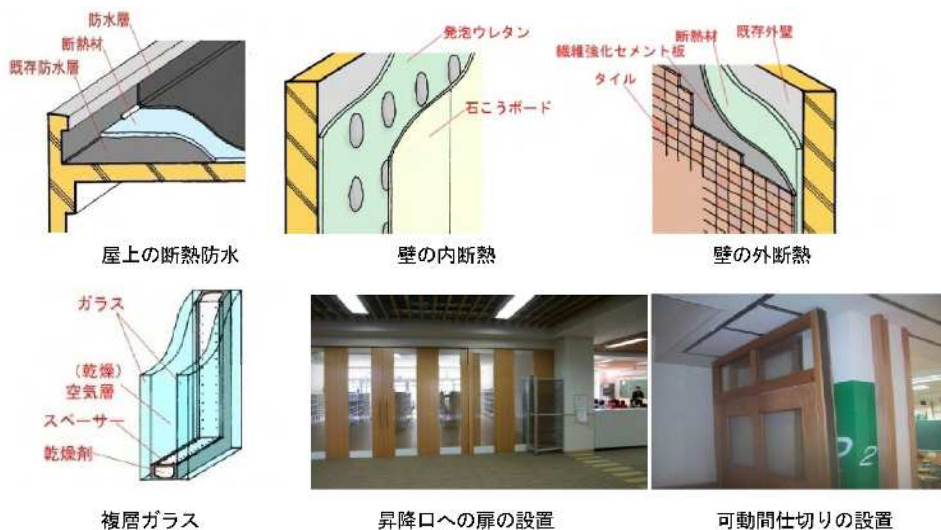
オ) 学校施設整備へのPPP/PFI手法の活用について

今後、高額な事業費が必要となる学校施設整備においては、民間事業者の技術やノウハウ、アイデアなどを取り入れ、より費用対効果の高い取組を行うため、「岐阜市 PPP/PFI 手法導入優先的検討に関する指針」に基づき、民間資金等活用（PPP/PFI）方式の検討を行います。

カ) 改修費用の軽減や省エネ機器の導入について

予防保全型の管理による学校施設の長寿命化や施設の耐用年数を考慮した計画的な維持・更新を行うことでライフサイクルコストを軽減します。

改修に併せて外断熱への変更や、複層ガラスへの変更など、建物の断熱化や省エネルギー機器の導入を検討し、学校施設の機能向上を図るとともに、ランニングコストの軽減に努めます。



(出典：「校舎のエコ改修の推進のために」国立教育政策研究所 文教施設研究センター)

キ) 「超長寿命化」への転換について

従来の一定期間ごとの修繕・改修、そして「従来：改築型」の概ね60年、「従来：長寿命化型」の概ね80年で改築という画一的な対応から、劣化状況を科学的アプローチにより把握し、鉄筋腐食を防止する観点から、工学的に合理的な対応策を講ずることにより、財政負担の軽減を図り、改築時期等を一律に設定しない「超長寿命化」への転換について、検討を行います。

ク) 国庫補助や地方債の更なる活用について

安全で快適な教育環境を維持するためには、継続的な学校施設の維持管理や改修が必要となり、財政支出面で大きな負担となります。

今後も、国庫補助事業や地方債等を最大限に活用し、財政支出の軽減を図ります。

- ・主な国庫補助事業・・・危険建物の改築事業、長寿命化改良事業、防災機能強化事業、大規模改造事業(老朽改修、エコ改修、トイレ改修、空調設置、校内LAN整備など)

- ・公共施設等適正管理推進事業債・・・集約化・複合化事業（延床面積の減少を伴う集約化・複合化事業）、長寿命化事業（施設（義務教育施設を含む）の使用年数を法定耐用年数を超えて延長させる事業）

(4) 改修等の実施計画（直近5年間の予算配分）

1) 改修等の整備費用と事業内容

令和8年度から令和12年度までの今後5年間においては、

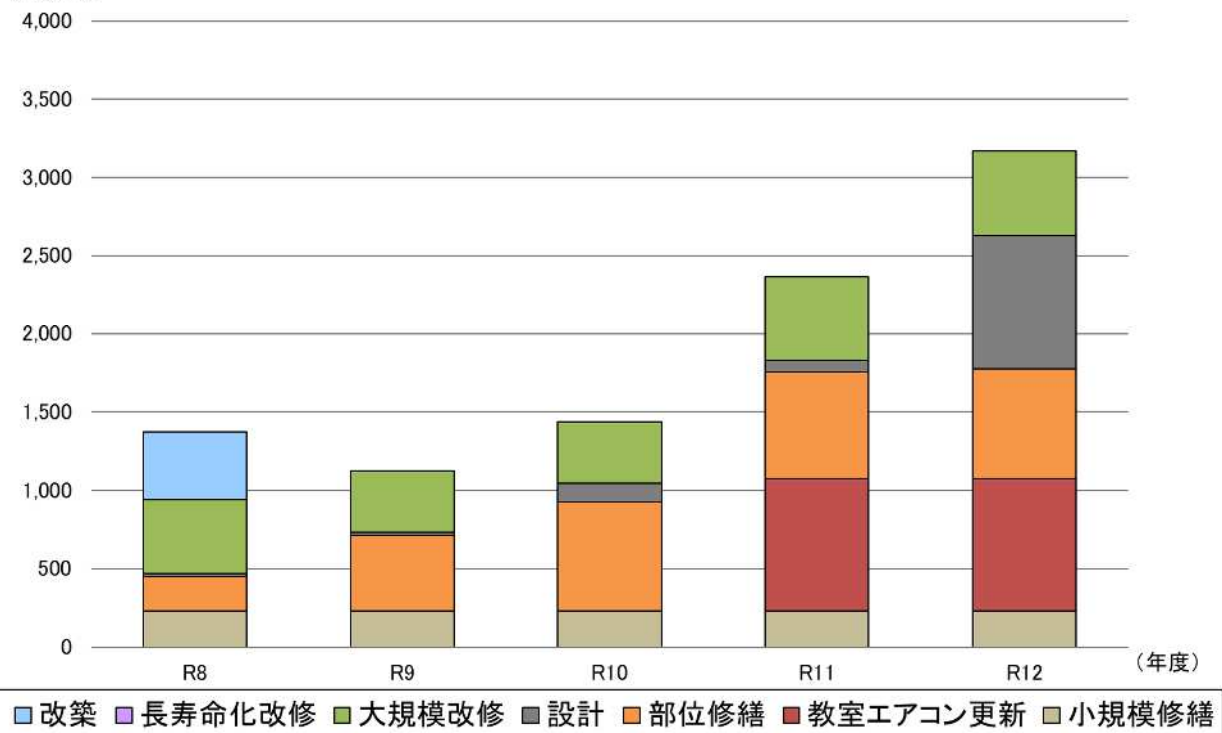
- ・劣化状況調査の結果、経年劣化が進んでおり早急に対応する必要がある部位の修繕
- ・照明のLED化
- ・教室エアコンの更新

を中心に整備を行います。

あわせて、学校施設の見直しに向けた検討を進めていきます。

【直近5年間の整備費用】

(百万円)



※ 緊急的な修繕や施策への対応にかかる経費を除く

※ 費用は現段階での概算費用とする

また、財源については、国の補助金や起債、教育施設整備基金などを適切かつ効果的に活用し、財政負担の軽減を目指します。

6. 長寿命化の実施計画

【施設毎の整備予定】

単位：千円

	部位	改修方針	R8		R9		R10		R11		R12	
改築 統廃合	藍川北学園		解体									
	藍東学園		解体	428,000								
	小計		428,000		0	0	0	0	0	0	0	
大規模改修	外壁落下防止	12年サイクル	7校	238,000	7校	145,000	7校	145,000	7校	180,000	7校	180,000
	トイレ改修	各校1系統はリニューアル	1校	2,400	2校	240,000	2校	240,000	3校	360,000	3校	360,000
		洋式化	中学校	234,000								
		多目的トイレ			1校	6,000	1校	6,000				
	バリアフリー		1校	11,000								
小計		485,400		391,000	391,000	540,000	540,000					
部位修繕	非常階段	撤去 差替え	1校	5,000	2校	10,000	3校	15,000	1校	5,000	1校	5,000
	屋上防水	雨漏り補修困難箇所	4校	74,772	8校	150,000	9校	180,000	6校	180,000	7校	200,000
	床	Pタイル・シート不良箇所	2校	13,500	4校	32,000	3校	24,000	3校	24,000	3校	24,000
	受電設備	定期更新 過負荷改善			2校	8,000	2校	8,000	2校	8,000	2校	8,000
	総合防災壁	定期更新	2校	18,000	1校	9,000	1校	9,000	1校	9,000	1校	9,000
	照明器具	LED化	調査		整備		リース1年目	150,000	リース2年目	150,000	リース3年目	150,000
	給食室ボイラー	古い順 保守結果			2校	14,000	2校	14,000	2校	14,000	2校	14,000
	揚水ポンプ		1校	4,300	2校	8,000	2校	8,000	2校	8,000	2校	8,000
	埋設給水管	鉄管枝の解消			5校	100,000	5校	100,000	5校	100,000	5校	100,000
	消火栓配管	漏水校	9校設計委託	5,000								
	給食用昇降機		1校	6,500	1校	6,500	1校	6,500	1校	6,500	1校	6,500
	小計		127,072		337,500	514,500	504,500	524,500				
体育館 武道場	体育館屋根	雨漏り 全体発錆	1校	38,000	3校	100,000	3校	100,000	3校	100,000	3校	100,000
	体育館床	劣化状態に応じて	3校	42,600	1校	3,300	1校	3,300	1校	3,300	1校	3,300
	武道場屋根	雨漏り 全体発錆			1校	38,000	2校	76,000	2校	76,000	2校	76,000
小計		80,600		141,300	179,300	179,300	179,300					
その他	外トイレ	洋式化 改装	1校	15,000	1校	15,000	1校	15,000	1校	15,000	1校	15,000
	小計		15,000		15,000	15,000	15,000	15,000				
エアコン 更新									1/5年目	840,000	2/5年目	840,000
	小計		0	0	0	840,000	840,000					
小規模修繕			233,250	233,250	233,250	233,250	233,250	233,250				
	小計		233,250	233,250	233,250	233,250	233,250					
設計			トイレ改修	20,000	トイレ改修	20,000	トイレ改修	20,000	トイレ改修	20,000	長寿命化・漏れ対策	850,000
							エアコン小学校	100,000	エアコン中学校	50,000		
	小計		20,000	20,000	120,000	70,000	850,000					
合計		1,389,322	1,138,050	1,453,050	2,382,050	3,182,050						

※ 費用は現段階での概算費用

なお、今後の整備予定については、現時点で早急な実施が必要となる内容を位置付けていますが、緊急的に対応が必要となる工事等もあることから、毎年度、整理をしながら整備を行っていくこととします。

2) 改修の内容

直近 5 年間の整備内容は、下記のとおり区分し、それぞれに必要な整備を行います。

ア) 部位修繕

劣化状況調査で経年劣化が進んでいる、または施設運営に支障がある部位。

イ) エアコン更新工事

経年劣化が進んでいる教室等のエアコン。

ウ) 照明器具の LED 化

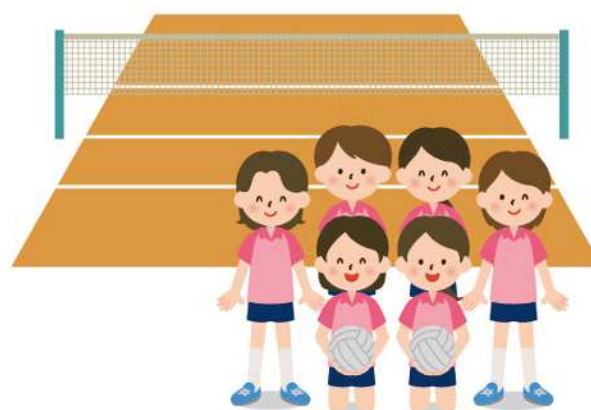
グラウンドの夜間照明も含め、基本的に全校、全灯を整備。

エ) 大規模改修

外壁落下防止工事を 1 2 年サイクルで実施。また、トイレ改修、バリアフリー化等施設整備を推進。

オ) 小規模修繕

随時、部分劣化、故障への対応。







7.長寿命化計画の継続的運用方針

7. 長寿命化計画の継続的運用方針

(1) 情報基盤の整備と活用

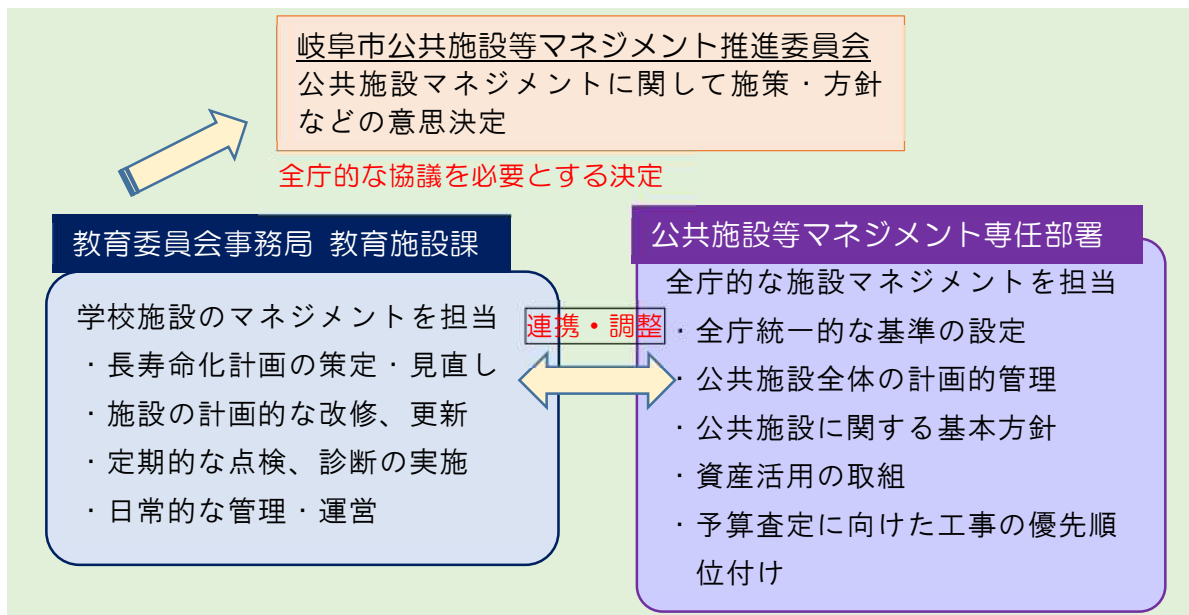
今後、公共施設マネジメントシステムを活用し、学校施設の基本情報、改修・補修等の工事履歴や劣化情報等を一元管理していきます。

(2) 推進体制等の整備

学校施設長寿命化計画を継続的に運用していくために、教育委員会事務局教育施設課を中心に、本計画を含む学校施設のマネジメントを行っていきます。

また、公共施設等マネジメント専任部署との連携・調整を図り、全庁的な協議を必要とする決定については、「岐阜市公共施設等マネジメント推進委員会」を活用するなどして、全庁的な体制で対応を図っていきます。

【計画推進体制のイメージ】



(出典：岐阜市公共施設等総合管理計画 P197 を元に加工)

(3) フォローアップ

本計画は、学校施設の改修や改築の優先順位を設定するものです。岐阜市総合計画や各年度の予算編成の中で年次及び個別の事業費を精査していきます。

また、事業の進捗状況、劣化調査などの結果を反映して5年ごとを目途に見直しを図るものとします。

施設情報をデータベースに蓄積・整理し、カルテ等で「見える化」することで、施策の効果検証を毎年度実施します。また、それらの計画に見直しが必要な場合は、全庁横断的な視点に立ち、フォローアップを図ります。

【フォローアップの実施】



(4) SDGs の推進等項目

長寿命化計画に基づく整備には、SDGs の理念を取り入れながら、掲げられている17の目標に対し、該当する以下の内容に取り組んでいきます。



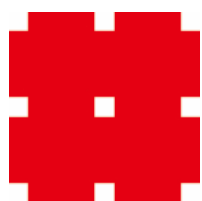




資料編

●用語集

語句	説明
長寿命化	建物を将来にわたって長く使い続けるため、耐用年数を延ばすこと。
従来型管理	建物や機械・電気設備等において、不具合が出た箇所のみを事後的に修繕し、建築後 60 年程度で改築するというような維持・更新の方法のこと。
長寿命化型管理	建物の損傷や電気・機械設備等の異常が軽微である早期の段階から、機能・性能の保持・回復を図るための修繕等を予防的に実施し、耐用年数を 80 年程度まで延ばす維持・更新の方法のこと。
改修	経年劣化した建物の部分又は全体の原状回復を図ることや、建物の機能・性能を求められる水準まで引き上げる工事を行うこと。
改築	老朽化により構造上危険な状態にあたり、教育上、著しく不適当な状態にあたりする既存の建物を建て替えること。
公共施設等総合管理計画	長期的視点をもって公共施設等の更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより財政負担を軽減・平準化するとともに、その最適な配置を実現するため、地方公共団体が所有する全ての公共施設等を対象に、地域の実情に応じて、総合的かつ計画的に管理する計画のこと。
中性化	二酸化炭素によって生じる、鉄筋コンクリートの劣化のひとつ。コンクリートは主成分がセメントであるため内部がアルカリ性であるが、外部からの炭酸ガスの侵入によって中性になると鋼材の不動態被膜が失われ、耐腐食性が低下すること。
中性化試験	コンクリートの中性化状態を、試験薬を用い中性化の深さを測定すること。（採取したコンクリートのコア側面に、フェノールフタレイン溶液を噴霧する。中性化していないアルカリ性の部分は赤紫に変色し、中性化した部分は変色しない。）
目標使用年数	本市が目標とする、建物を建築してから改築等を行うまでの使用期間のこと。
ライフサイクルコスト	製品や構造物などの費用を、調達・製造～使用～廃棄の段階をトータルで考えること。訳語として生涯費用ともよばれ、英語の頭文字から LCC と略す。
SDGs	持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された 2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のこと。



岐阜市学校施設長寿命化計画

令和2年3月策定
令和8年2月改定

発行：岐阜市
編集：教育委員会事務局 教育施設課